

4 植生被覆地・緑被地等調査

4-1 植生被覆地・緑被地等の現況

1) 植生被覆地・緑被地・みどり率（区全域）

区全域（3,220.0ha）における「植生被覆地（率）」、「緑被地（率）」、「みどり（率）」を表 4-1、図 4-1、植生被覆分布図を図 4-6、緑被分布図を図 4-7 に示す。

表4-1 区全域の植生被覆地・緑被地・みどり率の状況

分 類		面積(ha)	構成比(%)	各指標値率		
植生被覆地等	植生被覆地	598.03	18.57	植生被覆率 18.57%		
	非植生被覆地	2,621.97	81.43			
	合 計	3,220.00	100.00	—		
緑被地等	自然面	緑被地	樹木被覆地	415.80	12.91	緑被率 18.76%
			草地	162.99	5.06	
			農地	15.19	0.47	
			屋上緑化	9.99	0.31	
		計	603.97	18.76		
	人工面	裸地	100.25	3.11	—	
		水面	69.45	2.16		
		計	773.67	24.03		
	合 計	2,446.33	75.97			
	みどり等	みどり	公園以外の緑被地	467.02	14.50	みどり率 22.81%
公園以外の水面			66.22	2.06		
公園面積			201.18	6.25		
計			734.42	22.81		
みどり以外		2,485.58	77.19	—		
合 計	3,220.00	100.00				

※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

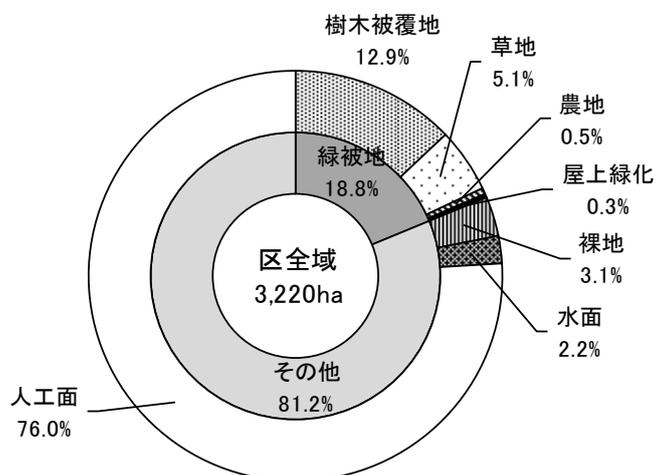


図 4-1 区全域の植生被覆地と緑被地等の構成

2) 3つの指標（植生被覆率・緑被率・みどり率）の概念

植生被覆率、緑被率、みどり率の各指標には、データの抽出手法等に以下のような相違点がある。また、植生被覆地・緑被地の模式図を図4-2、緑被地等の分類を図4-3に示す。

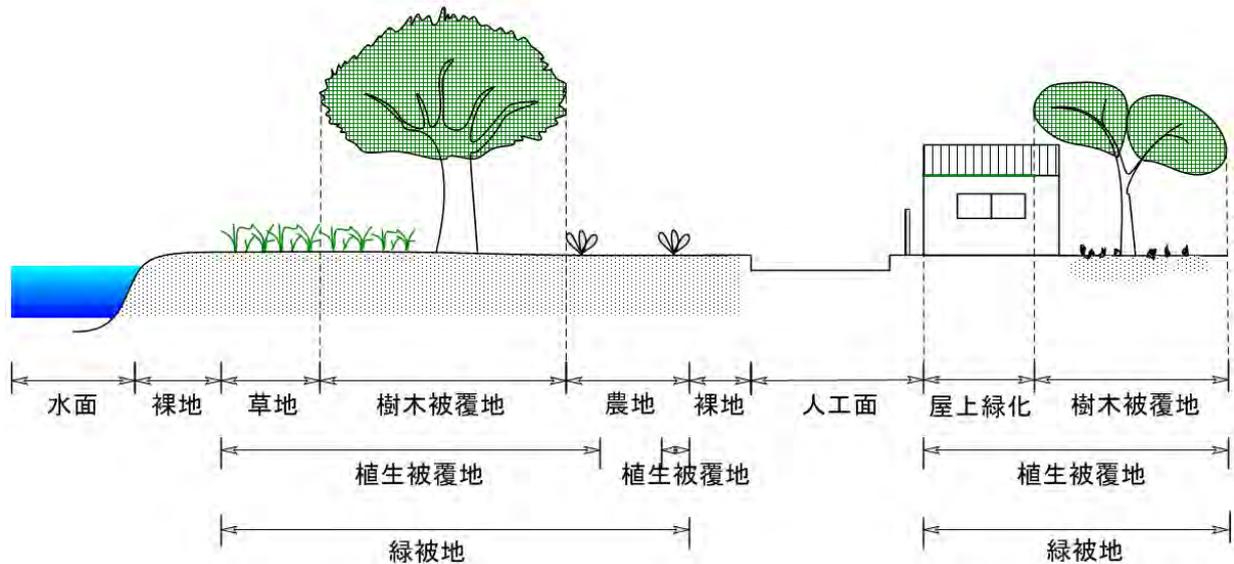
植生被覆率	<ul style="list-style-type: none"> ・ 航空写真撮影時に植生に被覆されている範囲が、区域面積に占める割合 ・ 植生の区分はしない ・ 画像処理のみで抽出されたものを植生とする ・ 画像処理は、正規化植生指標（NDVI）※を用いて行い、一定の値以上のものを植生として抽出する ・ 抽出の最小単位は、空中写真データの画素単位（0.01㎡）とする（過去の調査と同じ） $\text{植生被覆率}(\%) = \frac{\text{植生に覆われた区域の面積}}{\text{地区の面積}} \times 100$
緑被率	<ul style="list-style-type: none"> ・ 植生被覆率を算出したデータを基に、樹木被覆地、草地、農地、屋上緑化を区分したもの ・ 植生の区分は、目視判読により行う ・ 農地は、敷地として抽出する ・ 緑被抽出の最小単位は、「緑被率標準調査マニュアル」（東京都）の水準Ⅰに準拠して、1㎡以上とする（過去の調査と同じ） $\text{緑被率}(\%) = \frac{(\text{樹木被覆地} + \text{草地} + \text{農地} + \text{屋上緑化}) \text{の面積}}{\text{地区の面積}} \times 100$
みどり率	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑被率の算出に用いた面積に、公園の緑被以外、公園以外の水面の面積を足した面積が、区域に占める割合 ・ 抽出の最小単位は「緑被率標準調査マニュアル」（東京都）の水準Ⅰに準拠して、1㎡以上とする（過去の調査と同じ） $\text{みどり率}(\%) = \frac{(\text{公園の全区域} + \text{緑被地}^{※}) + \text{水面}^{※}) \text{の面積}}{\text{地区の面積}} \times 100$ <p style="text-align: right;">※) 公園区域に含まれないもの</p>

【植生被覆率と緑被率の特徴】

- ・ 「植生被覆地」は、空中写真による植生指標が一定以上のものを抽出しているため、作物(植物体)のない農地は植生被覆地として抽出されない。また、日陰にある樹木や草地、植生指数が高くない特殊な植物（屋上緑化に多い）などを抽出しにくいという特徴がある。
- ・ 「緑被地」は植生の種別や土地利用を判読し面として抽出するため、作物のない農地や、「植生被覆地」として抽出されにくい植生を緑被地としている。
- ・ 本調査結果で、「植生被覆地」面積よりも「緑被地」面積が大きい数値となっているのは、上記の理由によるものと考えられる。

※正規化植生指標：植生指標とは、植物による光の反射の特徴を生かし衛星データを使って簡易な計算式で植生の状況を把握することを目的として考案された指標で、植物の量や活力を表す。代表的な植生指標として、NDVI(Normalized Difference Vegetation Index：正規化植生指標)がある。

$$\text{NDVI} = (\text{IR} - \text{R}) / (\text{IR} + \text{R}) \quad \text{IR}; \text{近赤外バンド値、R}; \text{可視光赤バンド値}$$



※緑被地＝樹木被覆地＋草地＋農地＋屋上緑化

※植生被覆地＝植生指数が一定以上を示している植生（緑）に覆われている箇所

※人工面＝緑被地、裸地、水面以外の箇所

図4-2 植生被覆地・緑被地の模式図

【緑地の抽出区分】

- ① 樹木被覆地…樹木、樹林に覆われた土地。樹冠投影部分とする。
- ② 草地…草本類に覆われた土地。
- ③ 農地…畑地（樹木畑・果樹園を含む）、休耕地等の一敷地で農地利用している土地。
- ④ 屋上緑化…建物の屋上部や人工地盤上にある樹木または草地。
- ⑤ 裸地…人工構造物や樹木等で被覆されておらず、土壌が露出している土地。
- ⑥ 水面…河川や湖沼（プールは除く）の水面部。

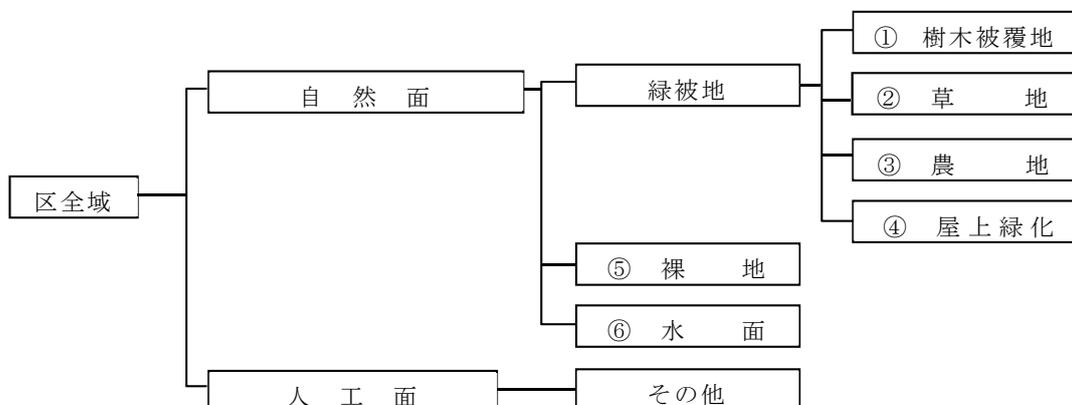


図4-3 緑被地等の分類

3) 調査方法 (空中写真撮影)

3) - 1 空中写真撮影 (デジタル空中写真)

- ・ 空中写真の撮影は、GNSS / IMU^{※1)}装置を搭載した航空機デジタルセンサーシステムを用いて、撮影から緑被の判読までの一連の作業をデジタル手法で実施した。
- ・ 樹木の倒れ込みを極力少なくするために、デジタルセンサーシステム諸元及び撮影諸元を表4-2のとおりとした。図4-4に空中写真の撮影コースを示す。

表 4-2 デジタル空中写真撮影の諸元

項 目	摘 要
撮 影 範 囲	板橋区全域 (32.22 k m ²)
撮 影 時 期	令和 6 年 7 月 28 日
撮 影 縮 尺	1/10,000
撮 影 コース	7 コース
撮 影 重 複 度	オーバーラップ(80%)、サイドラップ(60%)
デジタル計測機器	デジタル航空エリアセンサー
取得画像データ	PAN (パンクロ) / RGB (カラー) / NIR (近赤外線)
地 上 解 像 度	10 cm 以内

3) - 2 空中写真画像正射変換加工 (デジタルオルソ作成)

- ・ 撮影したデジタル空中写真は画像処理ソフトを用いて正射変換し、デジタルオルソ画像^{※2)}を作成した。
- ・ 作成するオルソ画像は、通常のカラールソおよび赤外カラールソの2種類で、東京都縮尺2,500分の1地形図データ等と整合するものとした。
- ・ カラールソデータならびに赤外カラールソデータの地上解像度は10cmとした。

※1) GNSS は GPS、GLONASS、準天頂衛星等の衛星群を用いた測位システムの総称で、IMU は機器の傾き等を知るための計測機器。

これらを組み合わせることにより、航空機の位置と姿勢を高精度に知ることができる。

※2) 空中写真などの画像に標高データを与えて、高低差による歪みを除去し、地図と同じ正射投影に変換した画像。

東京都板橋区みどり 撮影計画図

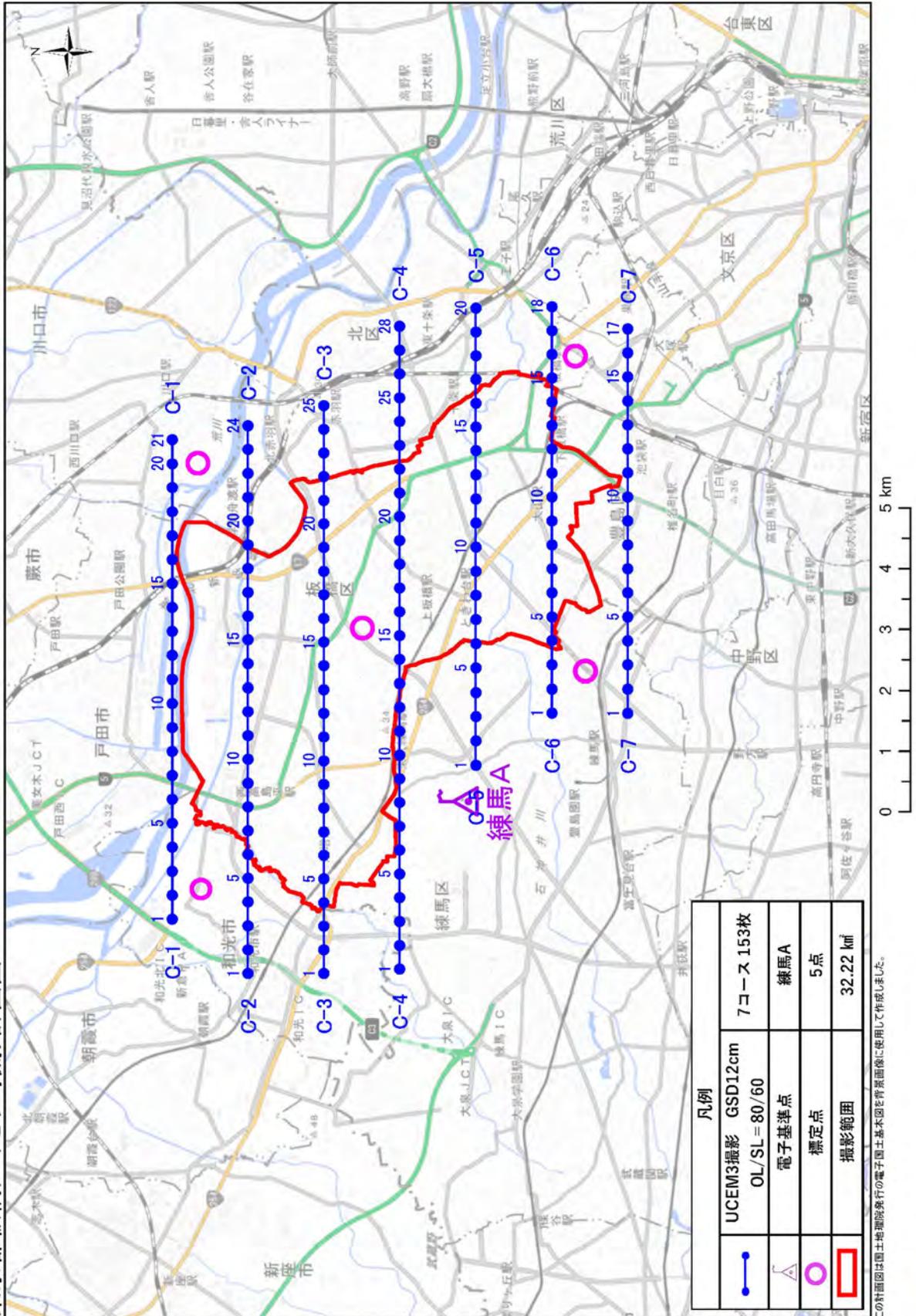
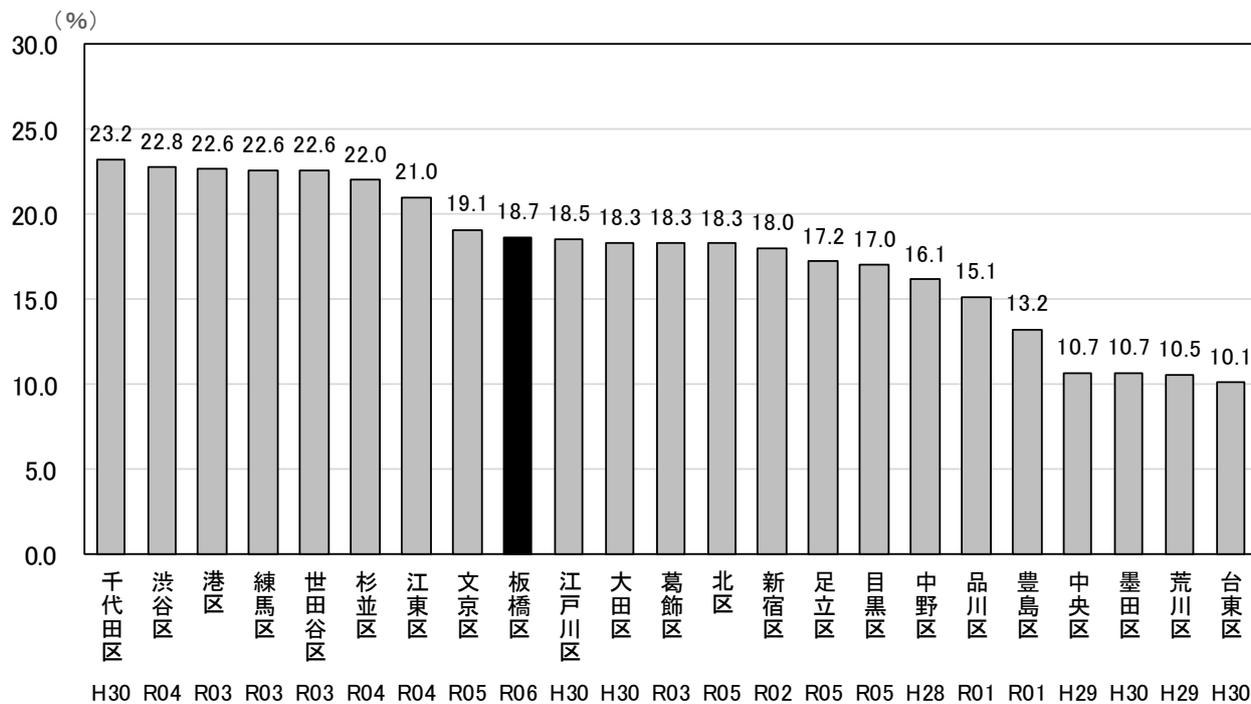


図4-4 デジタル空中写真の撮影コース

4) 23区の緑被率の比較

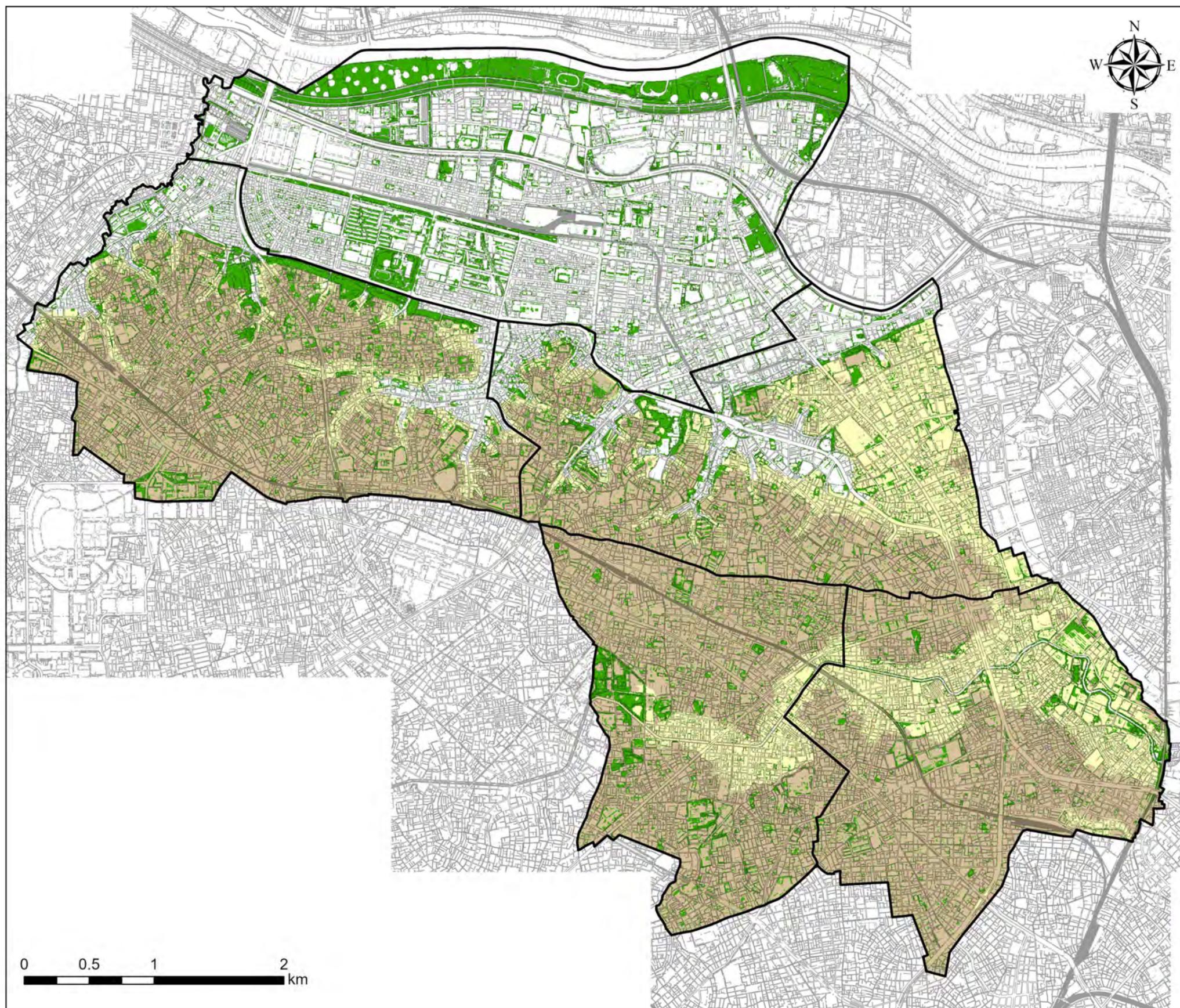
23区の緑被率を図4-5に示す。

現在公表されている各区の緑被率を比較すると、本区の緑被率は上位から9番目であった。ただし各区の緑被率は、調査方法、調査精度、調査年度が図4-5に示すようにそれぞれ異なっているため、単純な数値比較は適当ではない。



※出典：各区のホームページ、報告書等

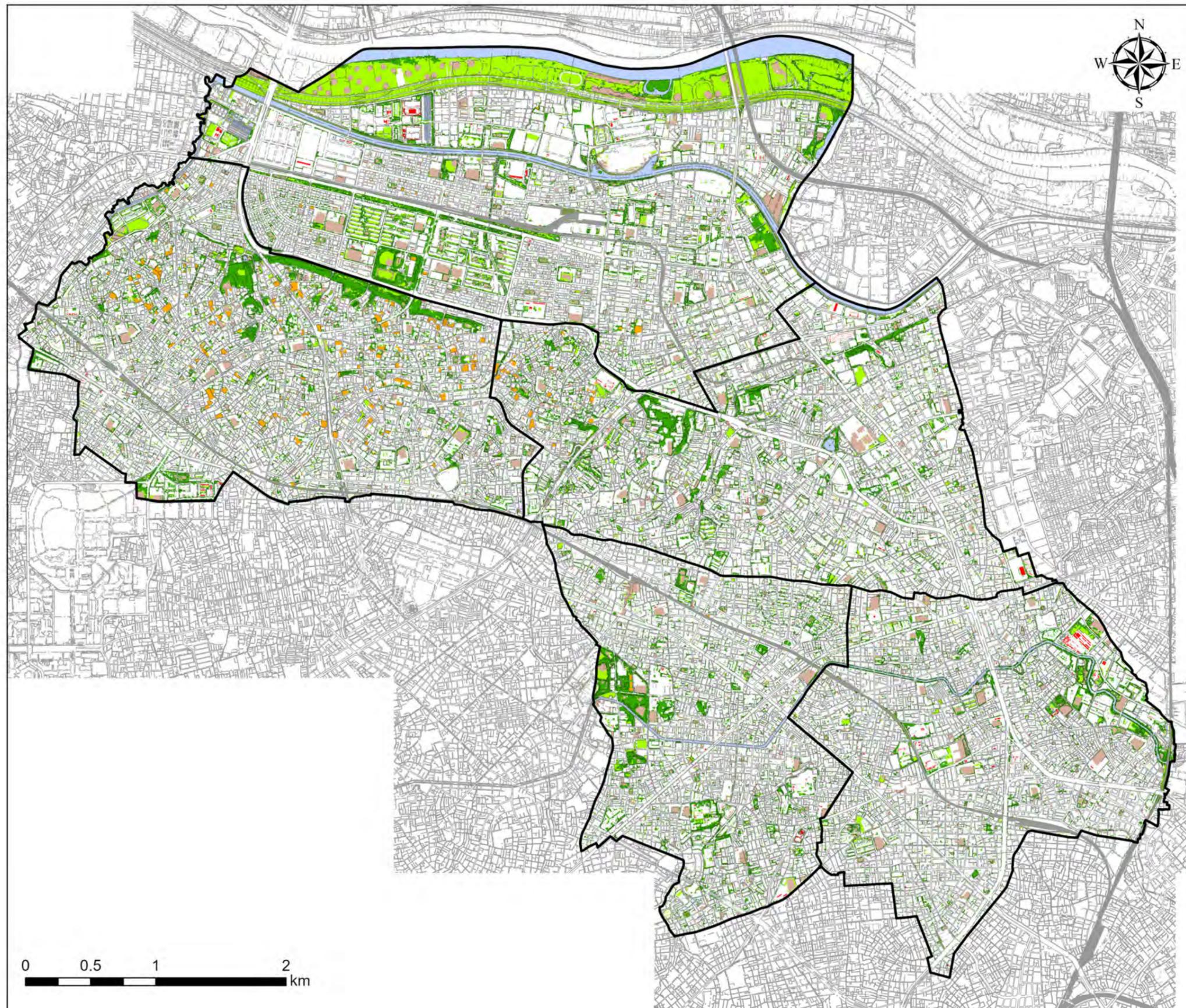
図4-5 23区の緑被率



- 凡例
- 植生被覆地
 - 斜面
 - 台地

この地図は東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。(承認番号) (MMT利許第06-119号)

図 4-6 植生被覆分布図



- 緑被地等区分
- 樹木被覆地
 - 草地
 - 農地
 - 屋上緑化
 - 水面
 - 裸地

この地図は東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。(承認番号) (MMT利許第06-119号)

図 4-7 緑被分布図

5) 植生被覆地・緑被地の状況分析（5地域別）

- ・ 5地域別の植生被覆地と緑被地等の状況を表4-3、植生被覆率・緑被率の順位を表4-4、樹木被覆率・草地率・農地率の順位を表4-5に示す。
- ・ 「植生被覆率」は高島平地域が最も高く、次いで赤塚地域、志村地域、常盤台地域の順となっており、板橋地域が最も低い。
- ・ 「緑被率」は高島平地域が最も高く、次いで赤塚地域、志村地域、常盤台地域、板橋地域の順であった。
- ・ 「樹木被覆率」では赤塚地域が最も高く、次いで志村地域、常盤台地域であり、「緑被率」が最も高い高島平地域は第4位であった。
- ・ 「草地率」は高島平地域以外の4地域が1～2%程度に対して、高島平地域は12.71%と特に高いが、荒川河川敷の草地によるものである。
- ・ 「農地」の多くが赤塚地域にあり、他4地域の「農地率」は1%未満であった。

表4-3 5地域別の植生被覆地と緑被地等の状況

上段：面積(ha) 下段：構成比(%)

地域	地域面積	植生被覆地	構成比(%)						
			樹木被覆地	草地	農地	屋上緑化	緑被地	水面	裸地
板橋	526.0	69.58	57.42	8.85	0.00	2.53	68.80	3.10	15.28
	-	13.23	10.92	1.68	0.00	0.48	13.08	0.59	2.91
常盤台	466.0	74.43	62.72	8.20	0.32	1.12	72.36	2.90	13.31
	-	15.97	13.46	1.76	0.07	0.24	15.53	0.62	2.86
志村	646.0	106.90	90.35	12.68	2.07	2.01	107.12	3.83	15.43
	-	16.55	13.99	1.96	0.32	0.31	16.58	0.59	2.39
赤塚	657.0	123.78	98.17	15.70	11.95	1.18	127.01	0.88	19.18
	-	18.84	14.94	2.39	1.82	0.18	19.33	0.13	2.92
高島平	925.0	223.33	107.14	117.56	0.84	3.14	228.68	58.75	37.05
	-	24.14	11.58	12.71	0.09	0.34	24.72	6.35	4.00
区全域	3,220.0	598.03	415.80	162.99	15.19	9.99	603.97	69.45	100.25
	-	18.57	12.91	5.06	0.47	0.31	18.76	2.16	3.11

※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

表4-4 植生被覆率・緑被率の順位

地域	順位	植生被覆率(%)	緑被率(%)	主な緑被地
高島平	1	24.14	24.72	荒川河川敷、高島平団地、都立赤塚公園
赤塚	2	18.84	19.33	都立赤塚公園、都市機構光が丘パークタウン周辺
志村	3	16.55	16.58	サンシティ、熊野神社周辺、小豆沢公園、見次公園
常盤台	4	15.97	15.53	都立城北中央公園、心身障害児総合医療療育センター周辺
板橋	5	13.23	13.08	石神井川周辺、東板橋公園、都健康長寿医療センター周辺
区全域		18.57	18.76	

表4-5 樹木被覆率※1)・草地率※2)・農地率の順位※3)・屋上緑化率の順位※4)

地域	順位	樹木率	順位	草地率	順位	農地率	順位	屋上緑化率
赤塚	1	14.94	2	2.39	1	1.82	5	0.18
志村	2	13.99	3	1.96	2	0.32	3	0.31
常盤台	3	13.46	4	1.76	4	0.07	4	0.24
高島平	4	11.58	1	12.71	3	0.09	2	0.34
板橋	5	10.92	5	1.68	5	0.00	1	0.48
区全域		12.91		5.06		0.47		0.31

※順位は小数第3位以下の数値を反映している

【板橋地域】

- ・「植生被覆率」、「緑被率」、「樹木被覆率」、「草地率」、「農地率」ともに5地域の中で最も低いが、「屋上緑化率」が最も高い。
- ・主な「緑被地」は、石神井川沿いのサクラ並木とその周辺に位置する公園緑地、敷地規模の大きい医療系施設、社寺境内地、集合住宅の施設緑地等であった。

【常盤台地域】

- ・主な「緑被地」は、都立城北中央公園、茂呂山公園等の公園緑地、敷地規模の大きい医療系施設、学校の施設緑地、社寺境内地の緑被地であった。

【志村地域】

- ・主な「緑被地」は、サンシティと周辺の公園緑地、熊野神社、志村小学校、志村城山公園から薬師の泉、小豆沢公園、小豆沢神社にかけての斜面緑地、見次公園、敷地規模の大きい集合住宅の施設緑地であった。
- ・地域西側の西台には「農地」の分布も多く、農地率は2位であった。

【赤塚地域】

- ・「樹木被覆率」は14.94%と5地域中最も高く、また「農地率」も1.82%で最も高い。「農地」面積は11.95haで区全体の「農地」の約8割を占めている。
- ・主な「緑被地」は都立赤塚公園、赤塚植物園等の公園緑地、敷地規模の大きい集合住宅の施設緑地、社寺境内地であった。

【高島平地域】

- ・荒川河川敷を含むため「草地率」は5地域中最も高く、「緑被地」面積の約半分が「草地」であった。
- ・「緑被率」は5地域中最も高いが、「樹木被覆率」は2番目に低い。
- ・主な「緑被地」は荒川河川敷、高島平団地、都立赤塚公園等の公園緑地であった。

※1) (樹木被覆地÷地域面積) × 100 ※2) (草地÷地域面積) × 100

※3) (農地÷地域面積) × 100 ※4) (屋上緑化÷地域面積) × 100

6) 植生被覆地・緑被地の状況分析(32地区別)

- ・ 地区別の植生被覆率と緑被率等の状況を表4-6、地区別植生被覆率区分図を図4-8、地区別緑被率区分図を図4-9に示す。
- ・ 「植生被覆率」は、高い順に新河岸地区(38.97%)、四葉地区(30.99%)、舟渡地区(30.67%)、加賀地区(30.29%)、中台地区(23.32%)であった。
- ・ 「緑被率」は、高い順に新河岸地区(39.25%)、四葉地区(31.57%)、舟渡地区(31.45%)、加賀地区(30.55%)、中台地区(23.26%)であった。
- ・ 「緑被率」が高い地区は荒川河川敷、都立公園、大規模集合住宅等のまとまりのある「緑被地」が分布する地区であった。
- ・ 「植生被覆率」が低いのは、大山(9.90%)、幸町(10.18%)、板橋(11.02%)、蓮沼町(11.59%)、仲宿(11.74%)であった。
- ・ 「緑被率」が低いのは、幸町(9.80%)、大山(9.86%)、板橋(10.77%)、仲宿(11.42%)、蓮沼町(11.45%)であった。
- ・ 「緑被率」が25%以上の地区は4地区、20%以上25%未満は4地区、15%以上20%未満は12地区、10%以上15%未満は10地区、10%未満は2地区であった。

表 4-6 地区別の植生被覆率と緑被率等の状況

地区名	地区面積 (ha)	植生被覆地 (ha)	植生被覆率 (%)	樹木被覆率 (%)	草地率 (%)	農地率 (%)	屋上緑化率 (%)	緑被地 (ha)	緑被率 (%)
板橋	101.0	11.13	11.02	9.17	1.24	0.00	0.36	10.88	10.77
加賀	49.0	14.84	30.29	24.36	4.15	0.00	2.04	14.97	30.55
仲宿	57.0	6.69	11.74	10.32	0.91	0.00	0.19	6.51	11.42
幸町	76.0	7.74	10.18	8.77	0.83	0.00	0.20	7.45	9.80
大山	79.0	7.82	9.90	8.14	1.46	0.00	0.26	7.79	9.86
中板橋	100.0	12.25	12.25	9.40	2.13	0.00	0.55	12.08	12.08
富士見町	64.0	9.11	14.24	12.24	1.77	0.00	0.24	9.12	14.25
常盤台	105.0	15.07	14.35	12.41	1.31	0.03	0.21	14.66	13.96
向原	44.0	6.90	15.67	13.44	1.61	0.05	0.33	6.79	15.43
大谷口	83.0	10.60	12.78	10.66	1.14	0.00	0.44	10.16	12.24
小茂根	91.0	16.08	17.68	14.35	2.61	0.03	0.18	15.64	17.18
東新町	67.0	9.36	13.98	12.33	0.78	0.03	0.13	8.89	13.27
上板橋	76.0	16.41	21.59	17.91	2.98	0.29	0.17	16.22	21.34
蓮沼町	115.0	13.32	11.59	9.84	1.19	0.00	0.42	13.17	11.45
小豆沢	88.0	14.75	16.76	14.08	2.42	0.01	0.42	14.89	16.92
志村	73.0	10.76	14.74	12.70	1.87	0.00	0.20	10.78	14.77
前野町	142.0	22.18	15.62	13.34	1.92	0.01	0.29	22.08	15.55
中台	72.0	16.79	23.32	21.50	1.60	0.01	0.15	16.75	23.26
若木	53.0	9.18	17.32	14.09	2.79	0.01	0.15	9.03	17.03
東坂下	46.0	9.89	21.51	15.50	5.92	0.00	0.51	10.09	21.93
西台	85.0	17.90	21.06	16.40	2.50	2.40	0.27	18.33	21.57
徳丸	188.0	32.57	17.32	13.58	1.93	2.36	0.14	33.85	18.00
四葉	49.0	15.19	30.99	25.74	3.07	2.61	0.15	15.47	31.57
赤塚	196.0	37.24	19.00	14.92	2.24	2.03	0.06	37.73	19.25
赤塚新町	49.0	9.25	18.87	16.13	2.09	0.00	0.55	9.20	18.77
成増	142.0	24.65	17.36	13.22	3.30	1.47	0.28	25.93	18.26
三園	57.0	9.35	16.40	10.77	5.10	0.37	0.49	9.54	16.73
坂下	96.0	12.32	12.84	10.90	1.96	0.00	0.25	12.59	13.12
蓮根	94.0	14.18	15.09	12.61	2.08	0.38	0.29	14.44	15.36
舟渡	208.0	63.79	30.67	9.16	22.08	0.00	0.21	65.42	31.45
高島平	313.0	57.56	18.39	14.57	4.15	0.13	0.30	59.93	19.15
新河岸	162.0	63.14	38.97	7.74	30.87	0.03	0.61	63.59	39.25
区全域	3,220.0	598.03	18.57	12.91	5.06	0.47	0.31	603.97	18.76

※順位は小数第3位以下の数値を反映している

※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

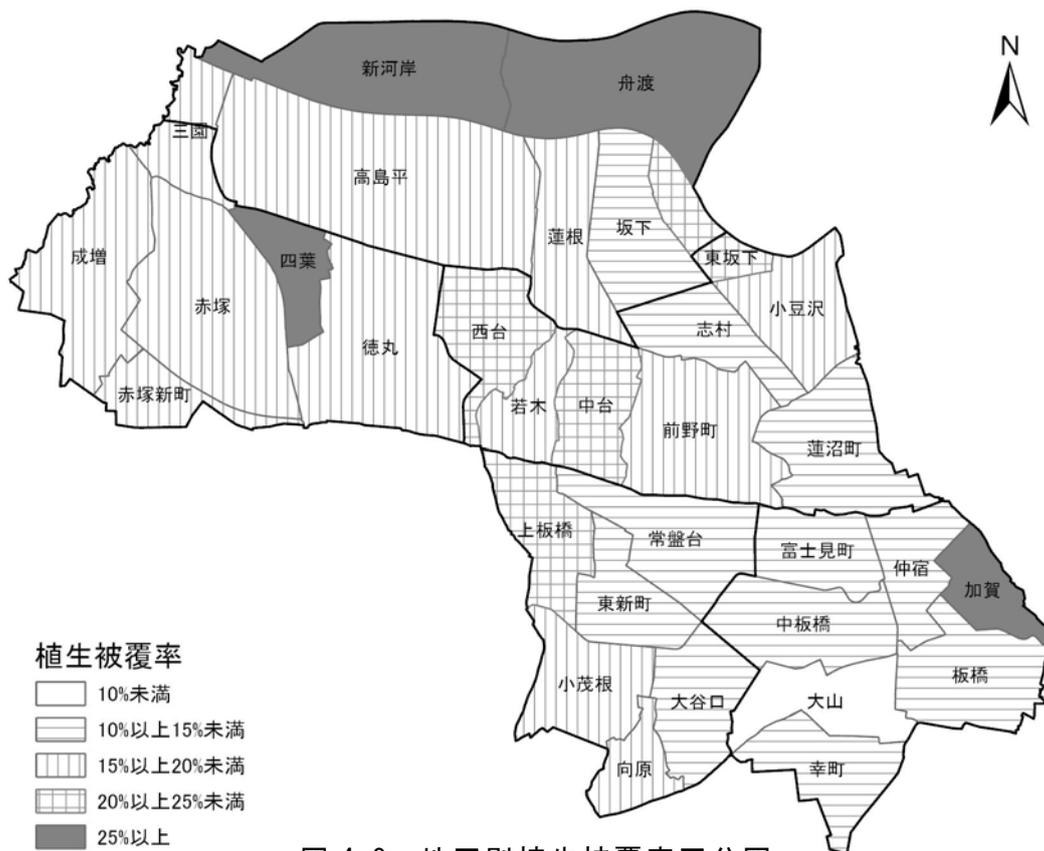


图 4-8 地区別植生被覆率区分図

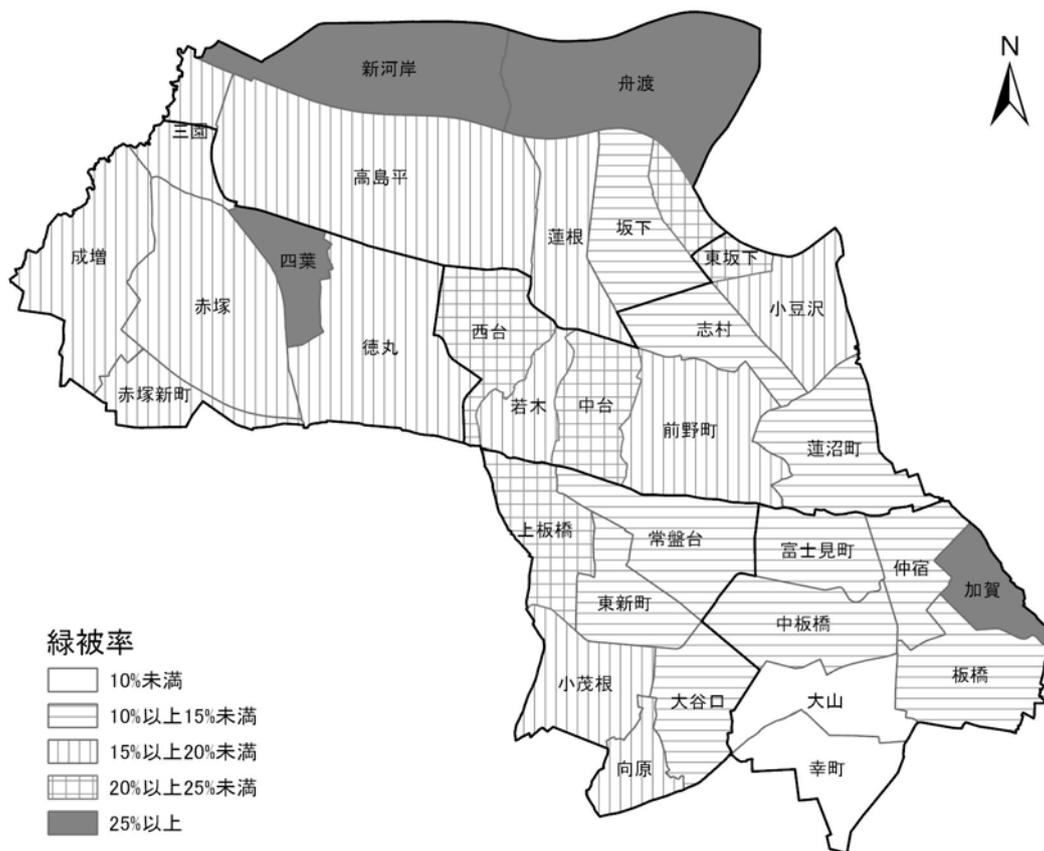


图 4-9 地区別緑被率区分図

7) 植生被覆地・緑被地の状況分析（町丁目別）

- 町丁目別緑被率区分を表4-7、緑被率の上位5町丁目を表4-8、緑被率の下位5町丁目を表4-9、植生被覆率の上位5町丁目を表4-10、植生被覆率の下位5町丁目を表4-11、町丁目別植生被覆率区分図を図4-10、町丁目別緑被率区分図を図4-11に示す。
- 「緑被率」が25%以上の町丁目数は20町丁目で、全体の14.9%であった。
- 町丁目数が最も多いのが「緑被率」10%以上15%未満で56町丁目であった。
- 「緑被率」が10%未満の町丁目数は19町丁目で、全体の14.2%であった。
- 「緑被率」高い町丁目は都立城北中央公園の位置する桜川一丁目、荒川戸田橋緑地の位置する新河岸三丁目、荒川河川敷と都立浮間公園の位置する舟渡二丁目、都立赤塚公園や大規模な緑地を有する集合住宅のある高島平三丁目、都立赤塚公園や竹の子公園の位置する大門であった。
- 「緑被率」が低いのは上板橋三丁目、中板橋、高島平六丁目、大谷口北町、大山町であった。

表4-7 町丁目別緑被率区分

緑被率ランク	町丁目数	割合(%)
10%未満	19	14.2
10%以上15%未満	56	41.8
15%以上20%未満	26	19.4
20%以上25%未満	13	9.7
25%以上	20	14.9
合計	134	—

表4-8 緑被率の上位5町丁目

順位	町丁目	緑被率(%)
1	桜川一丁目	68.38
2	新河岸三丁目	48.30
3	舟渡二丁目	46.40
4	高島平三丁目	45.89
5	大門	45.51
	区平均	18.76

表4-9 緑被率の下位5町丁目

順位	町丁目	緑被率(%)
1	上板橋三丁目	3.40
2	中板橋	5.18
3	高島平六丁目	5.84
4	大谷口北町	7.16
5	大山町	7.64
	区平均	18.76

表4-10 植生被覆率の上位5町丁目

順位	町丁目	植生被覆率(%)
1	桜川一丁目	68.41
2	新河岸三丁目	47.61
3	舟渡二丁目	45.86
4	高島平三丁目	45.57
5	大門	44.14
	区平均	18.57

表4-11 植生被覆率の下位5町丁目

順位	町丁目	植生被覆率(%)
1	上板橋三丁目	3.65
2	高島平六丁目	4.42
3	中板橋	5.15
4	高島平七丁目	6.86
5	大山東町	7.63
	区平均	18.57

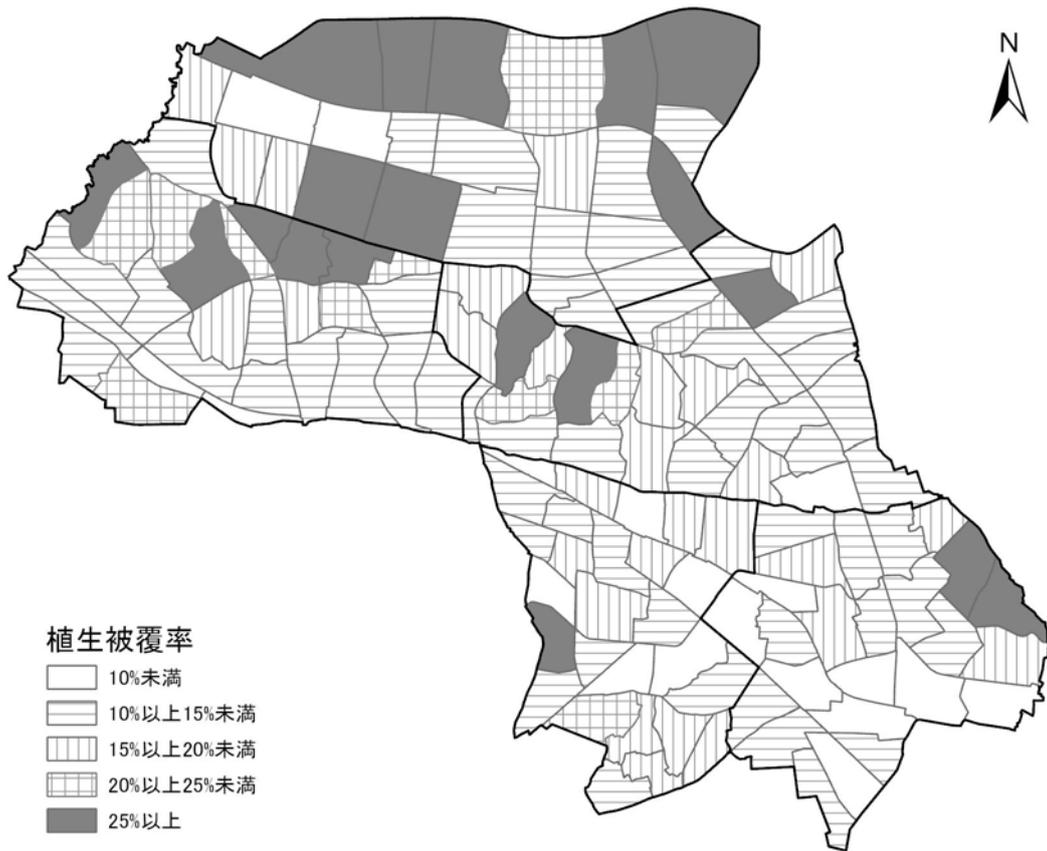


图 4-10 町丁目別植生被覆率区分图

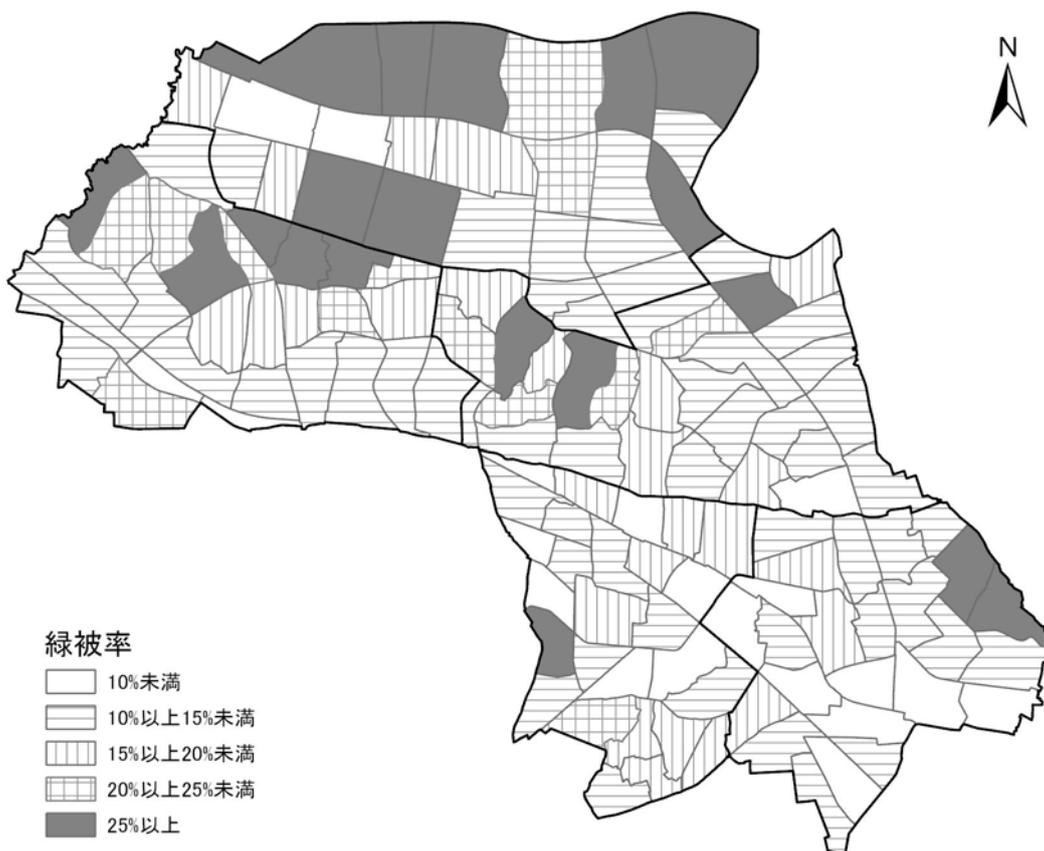


图 4-11 町丁目別緑被率区分图

8) 土地利用別の緑被地

8) - 1 土地利用別にみた緑被地等の分布

- ・ 土地利用別の敷地面積と緑被地面積の構成を図4-12、土地利用別の緑被地等の状況を表4-12に示す。
- ・ 令和3年度東京都土地利用現況調査結果による土地利用区分（P. 3-7 図3-6）による敷地面積の構成は、住宅用地が最も多く40.1%、次いで道路が19.8%、空地が13.0%である（P. 3-6 表3-2参照）。
- ・ 緑被地面積では空地^{※1)}の緑被地が最も多く199.13haで、緑被地面積全体の33.0%、次いで住宅用地の緑被地が188.95ha、全体の31.3%で、空地と住宅用地で区全域の緑被地の約6割を占めている。
- ・ 土地利用別の緑被率では林野が89.33%と最も高く、次いで農業用地の76.66%、空地の47.61%、公共用地の23.97%であった。
- ・ 宅地の中では公共用地の緑被率が最も高く23.97%、次いで住宅の14.63%であった。
- ・ 区全体面積に占める面積割合の高い道路の緑被率は10.13%であった。
- ・ 緑被率が最も低い土地利用は、工業用地の6.98%であった。

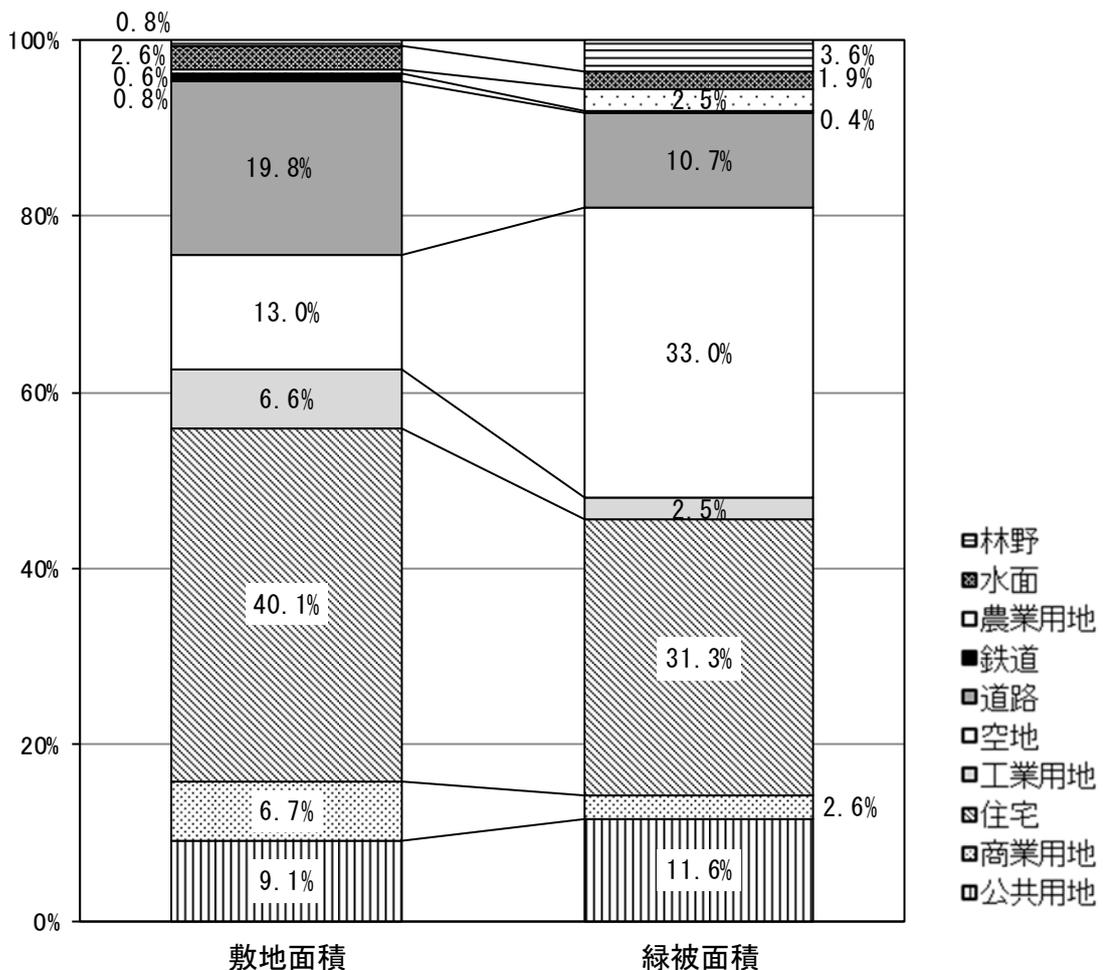


図4-12 土地利用別の敷地面積と緑被地面積の構成

※1) 屋外利用地、公園・運動場等、未利用地等

表4-12 土地利用別の緑被地等の状況

土地利用		敷地面積	樹木	草地	農地	屋上緑化	緑被地	緑被率	水面・裸地	人工面
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(%)	(ha)	(ha)
公共用地	官公庁施設	9.99	1.07	0.19	0.00	0.12	1.39	13.88	0.25	8.36
	教育施設	142.73	23.00	4.53	0.10	1.77	29.40	20.60	31.30	82.02
	文化施設	3.76	0.67	0.01	0.00	0.05	0.73	19.38	0.06	2.98
	宗教施設	24.28	9.59	0.36	0.16	0.02	10.12	41.68	0.43	13.73
	医療施設	27.75	5.14	0.63	0.00	0.83	6.60	23.79	0.21	20.94
	厚生施設	32.46	5.48	0.65	0.01	0.51	6.64	20.45	0.81	25.01
	供給施設	23.58	2.76	2.93	0.00	0.20	5.89	24.97	0.83	16.86
	処理施設	28.88	5.98	3.09	0.00	0.49	9.57	33.13	1.33	17.98
	計	293.43	53.69	12.39	0.27	3.99	70.34	23.97	35.22	187.87
商業用地	事務所建築物	49.53	3.32	0.42	0.00	0.45	4.20	8.47	0.32	45.01
	商業施設	54.43	2.70	0.55	0.00	0.44	3.69	6.78	1.40	49.35
	公衆浴場等	1.78	0.19	0.00	0.00	0.00	0.19	10.89	0.05	1.54
	住商併用建物	99.65	4.62	0.70	0.03	0.48	5.82	5.84	0.90	92.92
	宿泊施設	0.98	0.10	0.11	0.00	0.01	0.22	22.12	0.00	0.77
	遊興施設	5.07	0.32	0.03	0.00	0.04	0.39	7.71	0.19	4.49
	スポーツ施設	5.54	0.73	0.14	0.00	0.06	0.93	16.82	0.02	4.59
	興行施設	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計	216.97	11.99	1.96	0.03	1.47	15.44	7.12	2.87	198.66
住宅	独立住宅	634.90	82.01	8.65	1.25	0.45	92.36	14.55	4.00	538.54
	集合住宅	656.80	78.07	16.02	0.22	2.28	96.59	14.71	3.67	556.54
	計	1,291.70	160.08	24.67	1.47	2.72	188.95	14.63	7.67	1,095.08
工業用地	専用工場	99.24	5.13	1.36	0.03	0.33	6.85	6.90	3.18	89.22
	住居併用工場	31.42	1.24	0.22	0.01	0.12	1.59	5.07	0.30	29.52
	運輸施設	42.19	2.00	0.75	0.00	0.19	2.95	6.99	0.16	39.08
	倉庫施設	39.36	2.77	0.44	0.02	0.20	3.43	8.71	0.70	35.24
	計	212.21	11.14	2.77	0.07	0.85	14.82	6.98	4.33	193.05
空地	太陽光発電	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	屋外駐車場	133.73	7.99	3.08	0.10	0.03	11.20	8.38	16.85	105.67
	その他(屋外利用地・仮設建物等)	7.07	0.99	0.32	0.04	0.00	1.35	19.10	0.90	4.82
	ゴルフ場	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	その他(公園・運動場等)	232.16	89.41	74.46	0.36	0.84	165.08	71.10	30.80	36.28
	未利用地等	45.29	11.38	9.66	0.39	0.07	21.50	47.47	3.38	20.41
計	418.25	109.78	87.53	0.88	0.94	199.13	47.61	51.94	167.19	
道路	636.42	59.67	4.67	0.11	0.01	64.46	10.13	0.61	571.35	
鉄道・港湾等	24.66	0.56	1.83	0.00	0.00	2.39	9.70	0.11	22.16	
農業用地	農林漁業施設	0.28	0.06	0.00	0.07	0.00	0.13	45.29	0.00	0.15
	田	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	畑	17.78	1.25	0.92	11.68	0.01	13.85	77.92	0.43	3.49
	樹園地	1.52	0.37	0.06	0.60	0.00	1.03	67.70	0.07	0.42
	採草放牧地	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計	19.58	1.68	0.97	12.35	0.01	15.01	76.66	0.50	4.07
水面・河川・水路	82.40	5.71	5.95	0.00	0.00	11.66	14.16	66.36	4.38	
林野	原野	23.89	1.30	20.06	0.01	0.00	21.37	89.43	0.08	2.45
	森林	0.48	0.20	0.20	0.01	0.00	0.41	84.49	0.00	0.07
	計	24.37	1.50	20.26	0.02	0.00	21.77	89.33	0.08	2.52
区全体	3,220.00	415.80	162.99	15.19	9.99	603.97	18.76	169.70	2,446.33	

※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。
 ※水面面積で調整を行い区全体面積は3,220haとした。

8) - 2 公共用地の緑被地の分布

- ・ 公共用地の緑被地状況を図4-13、公共用地の緑被率を図4-14に示す。
- ・ 公共用地の敷地面積は全体で293.43ha、区全体の9.1%、緑被面積は70.34ha、緑被率は23.97%で、緑被面積全体の11.6% (P4-16 図4-12) であった。
- ・ 公共用地では学校その他の教育施設の緑被地面積が最も大きく29.40haであった。次いで宗教施設^{※1)}が10.12ha、処理施設が9.57haであった。
- ・ 公共用地の緑被率は、宗教施設が最も高く41.68%、次いで処理施設の33.13%、供給施設24.97%で、最も低いのは官公庁施設の13.88%だった。
- ・ 官公庁施設、文化施設を除いて公共用地の緑被率は20%を超えており、緑被率の高い施設が多いことが分かる。
- ・ 緑被構成では、教育施設、供給施設、処理施設において草地の占める割合が比較的高い。
- ・ 屋上緑化は教育施設で最も多く1.77haであった。

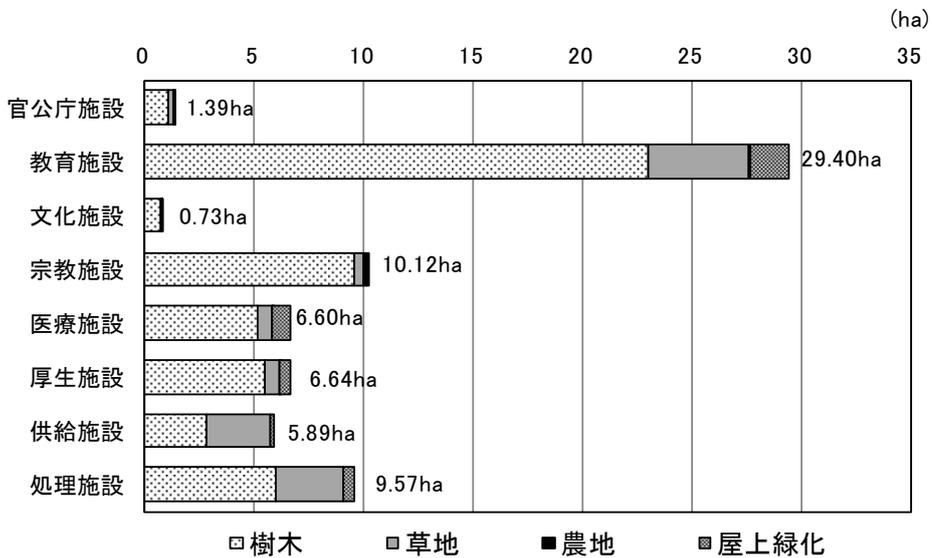


図4-13 公共用地の緑被地状況

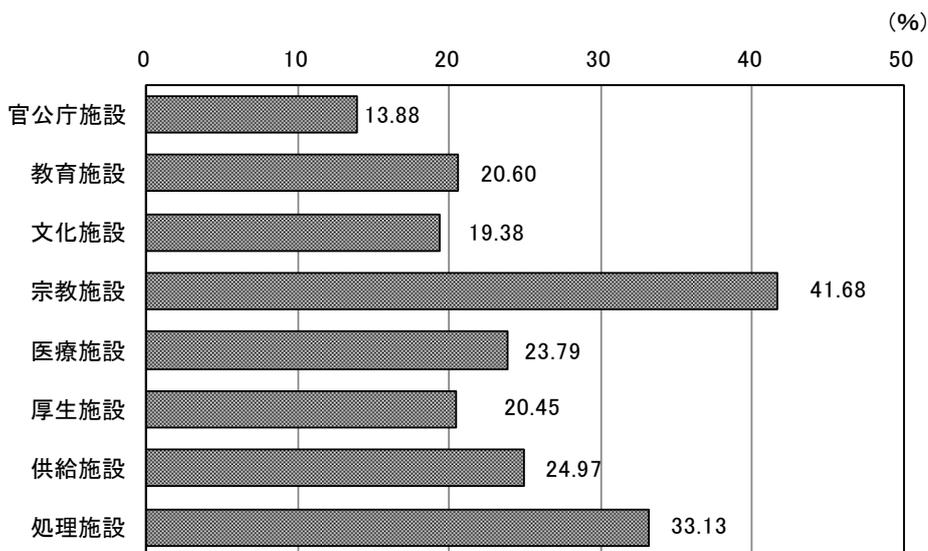


図4-14 公共用地の緑被率

※1) 宗教施設は、東京都土地利用現況調査の分類による「寺社、教会、町内会館」

8) - 3 商業用地の緑被地の分布

- ・ 商業用地の緑被地状況を図4-15、商業用地の緑被率を図4-16に示す。
- ・ 商業用地の敷地面積は216.97ha、区全体の6.7%、緑被面積は15.44ha、緑被率は7.12%で土地利用別で二番目に低く、緑被面積全体の2.56%（P4-16 図4-12）であった。
- ・ 商業用地の敷地面積の中では、住商併用建物が99.65haと最も大きな面積を占めているが、緑被率は最も低く5.84%であった。
- ・ 最も緑被率が高いのは宿泊施設の22.12%、次いでスポーツ施設の16.82%、公衆浴場等の10.89%で、その他は全て10%未満であった。
- ・ 商業用地の多くが商業系用途地域に指定されている区域にあり、指定建ぺい率が80%であることから、緑化余地が少なく緑被率も低いと考えられる。

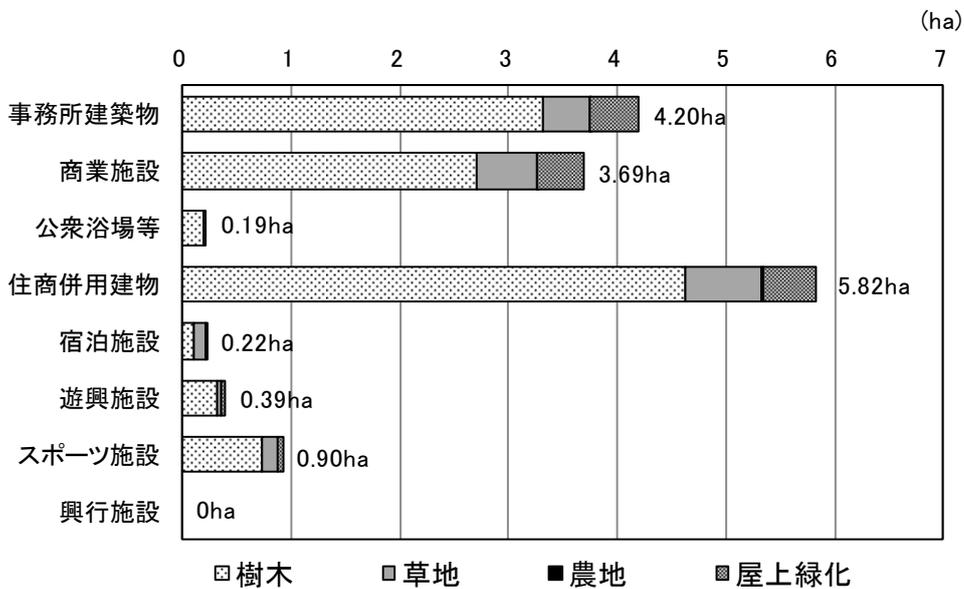


図4-15 商業用地の緑被地状況

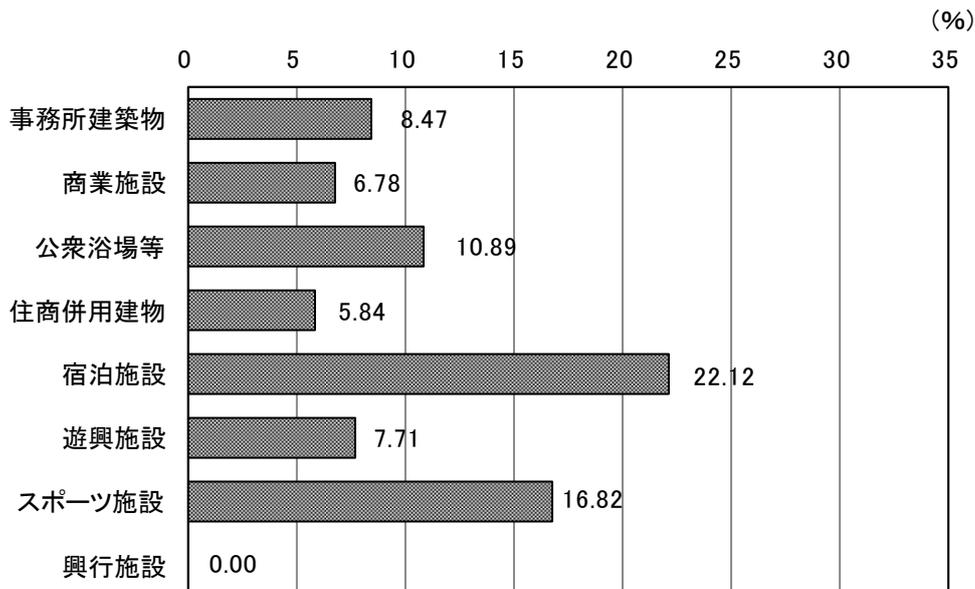


図4-16 商業用地の緑被率

8) - 4 住宅用地の緑被地の分布

- ・ 独立住宅と集合住宅の敷地面積を図4-17、住宅用地の緑被地状況を図4-18、住宅用地の緑被率を図4-19に示す。
- ・ 住宅用地の敷地面積は1,291.70haで区全体の40.1%であり、独立住宅と集合住宅の面積割合はほぼ等しい。
- ・ 緑被面積は188.95ha、緑被面積全体の31.3% (P4-16 図4-12) を占め、緑被率は14.63%であった。
- ・ 独立住宅の緑被面積、緑被率は、92.36ha、14.55%、集合住宅の緑被面積が96.59ha、緑被率は14.71%であった。
- ・ 独立住宅の緑被構成は、緑被地面積の約9割が樹木被覆地である。
- ・ 集合住宅の緑被構成は、緑被地面積の約8割が樹木被覆地で、独立住宅と比較すると草地面積、屋上緑化面積が多い。

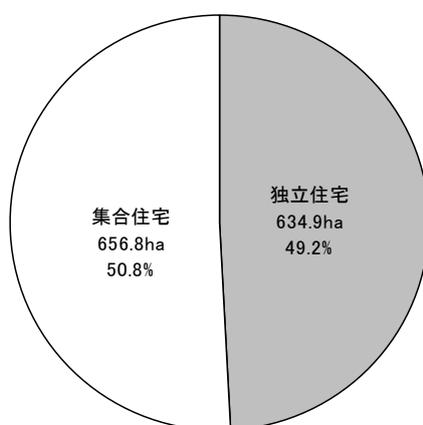


図4-17 独立住宅と集合住宅の敷地面積

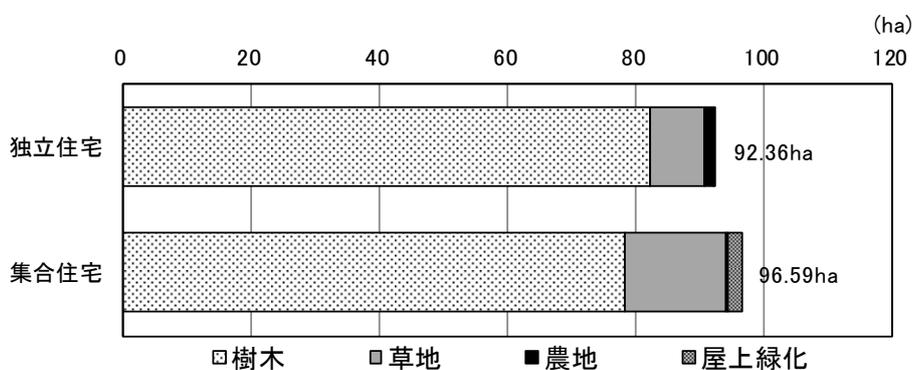


図4-18 住宅用地の緑被地状況

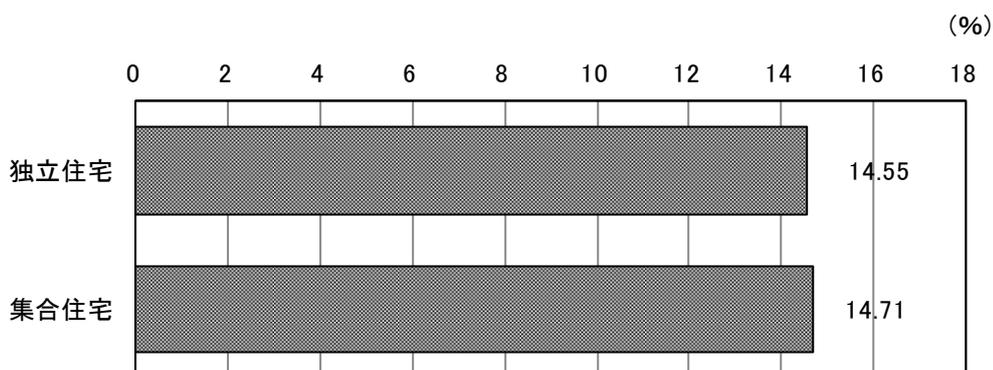


図4-19 住宅用地の緑被率

8) - 5 工業用地の緑被地の分布

- ・ 工業用地の緑被地状況を図4-20、工業用地の緑被率を図4-21に示す。
- ・ 工業用地の敷地面積は212.21haで区全体の6.6%、緑被面積は14.82ha、緑被率は6.98%、緑被面積全体の2.5% (P4-16 図4-12)であった。
- ・ 緑被面積は、専用工場が6.85haと最も多く、次いで倉庫施設の3.43haであった。緑被率は倉庫施設が8.71%と最も高く、次いで運輸施設の6.99%であった。

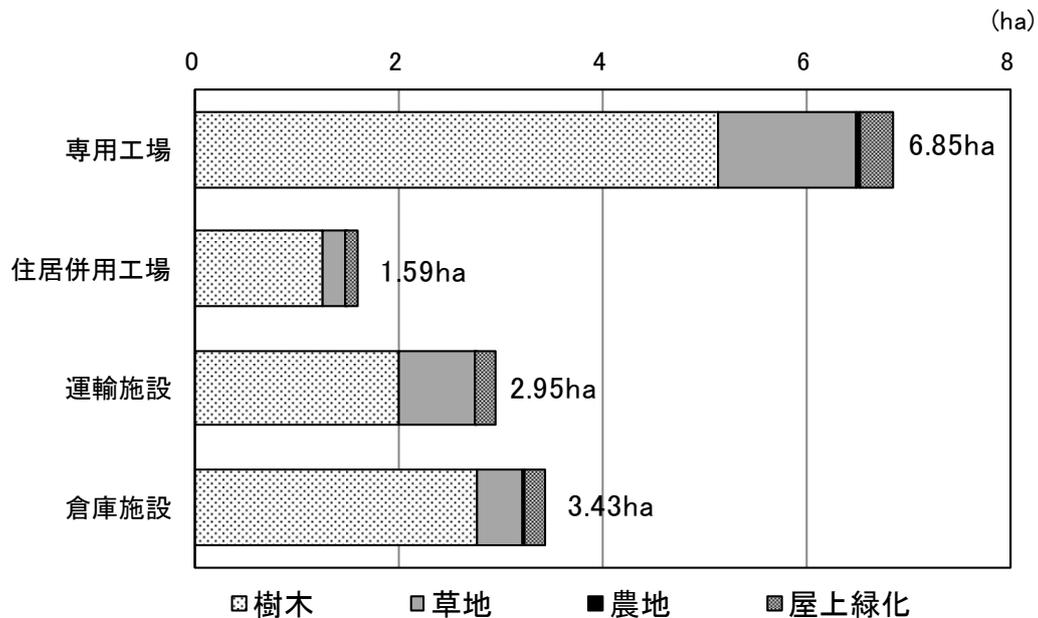


図4-20 工業用地の緑被地状況

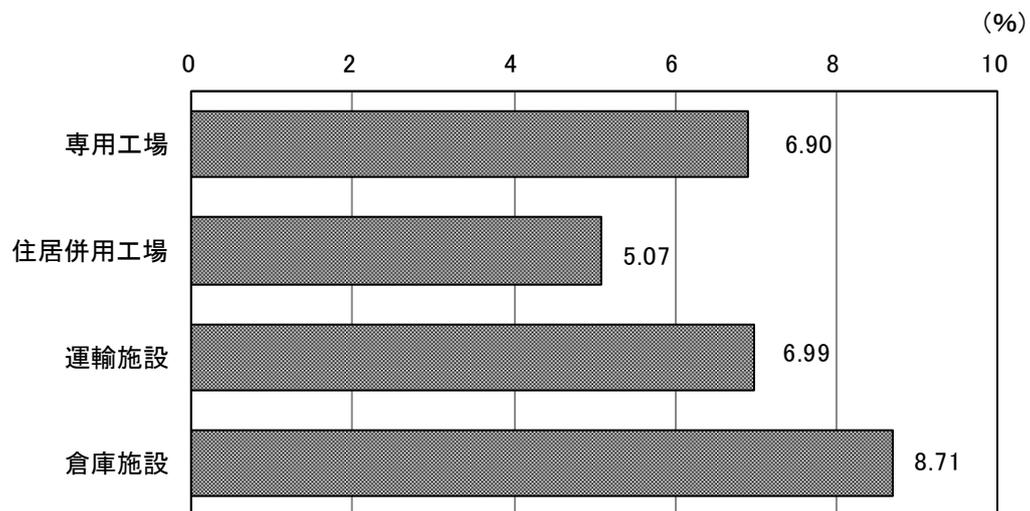


図4-21 工業用地の緑被率

8) - 6 道路・鉄道の緑被地の分布

- ・ 道路・鉄道の緑被地状況を図4-22、道路・鉄道の緑被率を図4-23に示す。
- ・ 道路の敷地面積は636.42haで区全体の19.8%、緑被面積は64.46ha、緑被率は10.13%、緑被面積全体の10.7%（P4-16 図4-12）であった。
- ・ 鉄道の敷地面積は24.66haで区全体の0.8%、緑被面積は2.39ha、緑被率は9.70%、緑被面積全体の0.4%（P4-16 図4-12）であった。
- ・ 道路の占める面積は住宅用地に次いで多く、区全体の約2割であるが、緑被率は低く、緑被面積は全体の約1割であった。

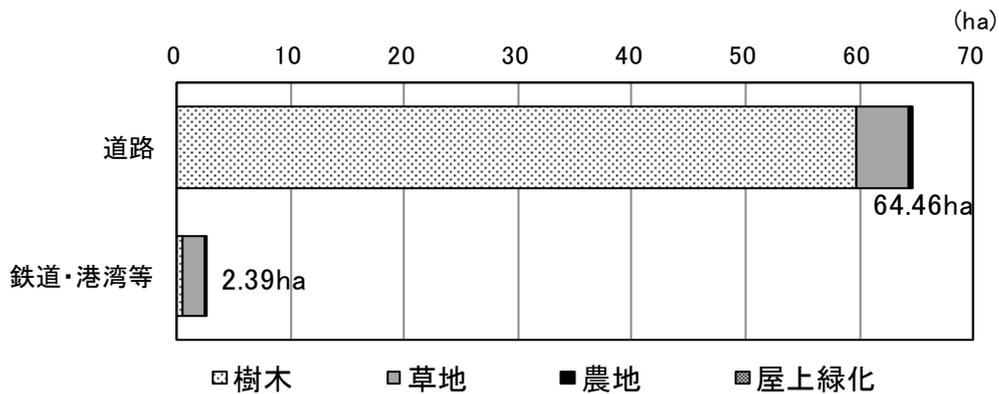


図4-22 道路・鉄道の緑被地状況

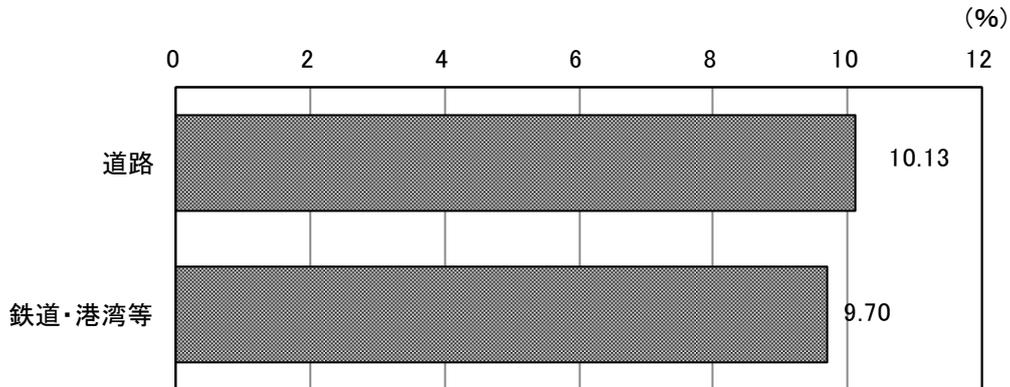
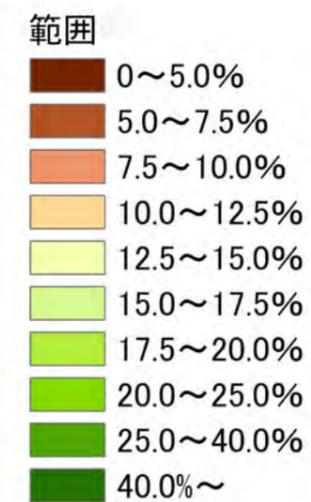
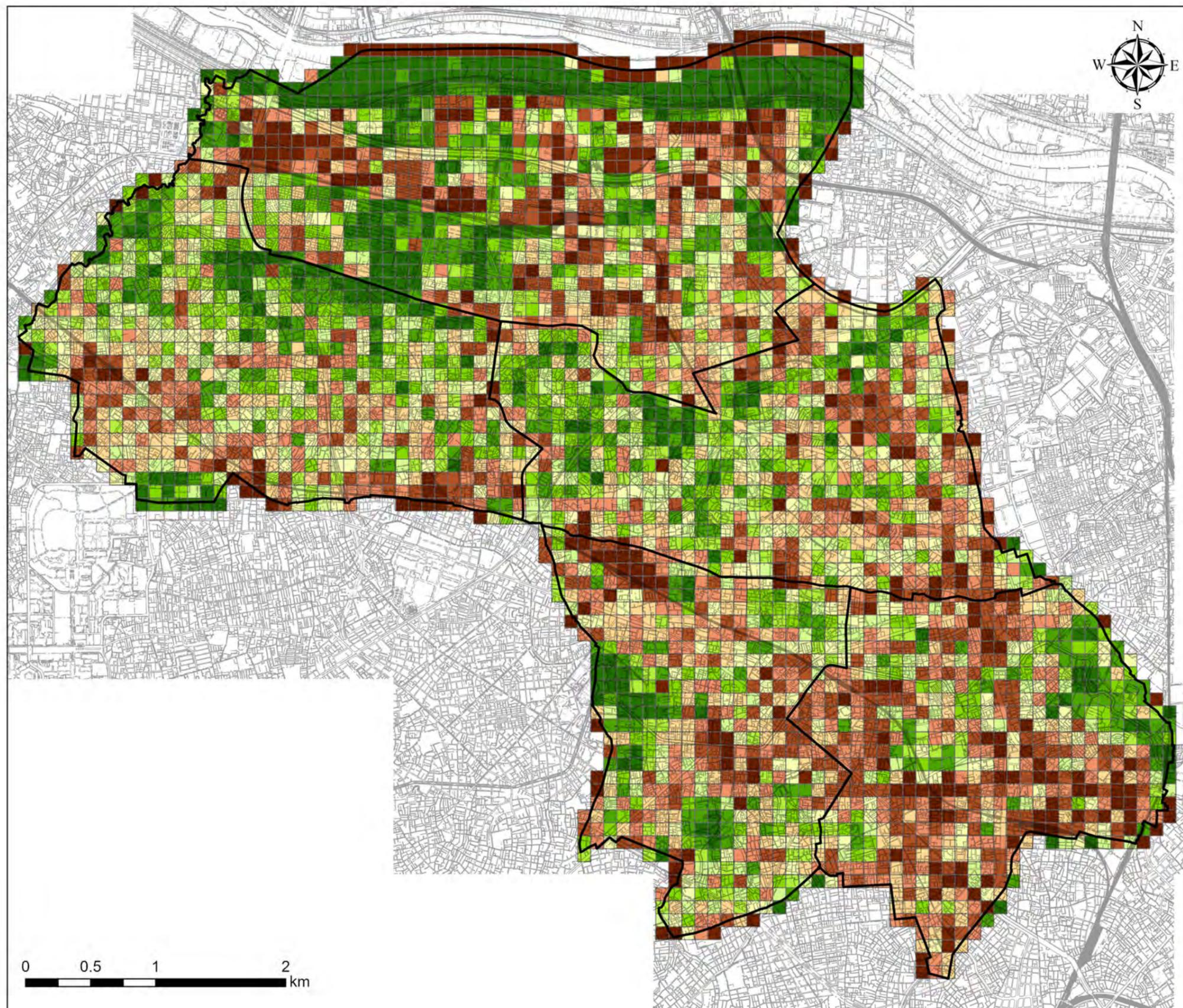


図4-23 道路・鉄道の緑被率

9) 植生被覆率の分布

- ・ 植生被覆地データをもとにして100m×100mメッシュ毎に区分し、各メッシュ内の「植生被覆率」を算出し、「植生被覆率分布図」として図4-24に示す。
- ・ 区北端と北側から中央部において東西方向に、「植生被覆率」の高い区域が帯状に分布している。これは荒川河川敷、都立公園、大規模集合住宅にある植生被覆地になる。
- ・ 区の南側には「植生被覆率」の低い区域が広く分布している。また、区北部の新河岸川と都営三田線の間地域にも「植生被覆率」5%未満の区域が点在している。
- ・ 「植生被覆率」の低い区域は高島平駅、大山駅、上板橋駅等の駅前周辺区域、敷地規模の大きい運輸施設、卸売り市場等であった。
- ・ 住宅地においては、小規模な低層住宅が多い地域において「植生被覆率」が低い。
- ・ 「植生被覆率」が低い区域の中でも、街区公園等が存在するメッシュの数値は高い。



この地図は東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。(承認番号) (MMT利許第06-119号)

図 4-24 植生被覆率分布図 (100m×100m)

10) みどり率の分布

10) - 1 みどり率の状況分析（区全域）

- ・ みどり率の状況を表 4-13、みどり率対象面分布図を図 4-26 に示す。
- ・ 区全域のみどり率は 22.81%であった。

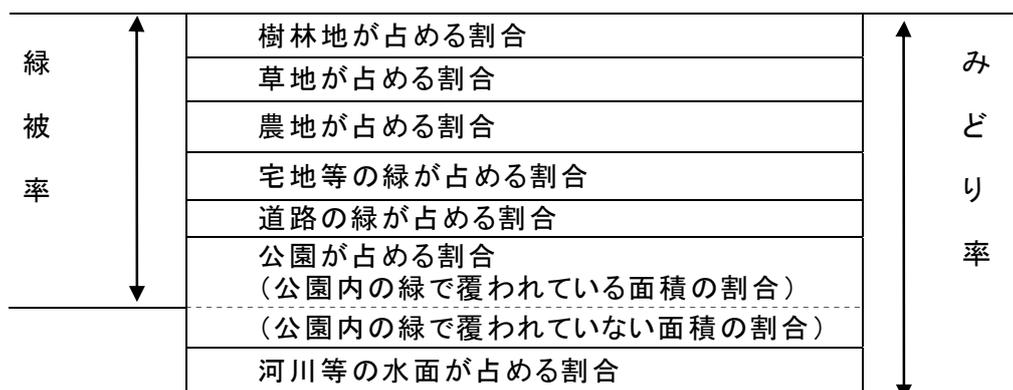
表 4-13 みどり率の状況

区全体面積 (ha)	みどり面積 (ha)	公園以外の		公園面積 (ha)	みどり率 (%)
		緑被地 (ha)	水面 (ha)		
3,220.0	734.42	467.02	66.22	201.18	22.81

※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

【みどり率調査について】

- ・ 緑被率とみどり率の関係を図 4-25 に示す。
- ・ みどり率^{※1)}は、東京都が「緑の東京計画」（2000年）において指標化したもので、緑被率に「河川等の水面の占める割合」と「公園内の緑で被われていない面積の割合」を加えたものである。
- ・ みどり率を算出するために、区が管理する公園データを緑被分布図に重ね合わせて、樹木被覆地、草地、屋上緑化、農地、公園面積および水面面積を集計した。



出典:「緑の東京計画」(平成12年12月、東京都)

図4-25 緑被率とみどり率の関係

$$\text{※1) みどり率}(\%) = \frac{(\text{公園の全区域} + \text{緑被地}^{\text{※}} + \text{水面}^{\text{※}}) \text{の面積}}{\text{地区の面積}} \times 100$$

※) 公園区域に含まれないもの



- 凡例
- 公園・緑地
 - みどり率対象面

この地図は東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。(承認番号) (MMT利許第06-119号)

図 4-26 みどり率対象面分布図

10) - 2 みどり率の状況分析 (32地区別)

- ・ 32地区別のみどり率の状況を表4-14に示す。
- ・ みどり率が最も高いのは新河岸地区で57.07%であった。次いで舟渡地区50.0%、加賀地区35.68%、四葉地区33.47%、東坂下地区31.42%となった。
- ・ 新河岸地区は荒川沿いの地区であり、荒川戸田橋緑地などの公園・緑地が多い上に新河岸水再生センターがあり、みどり率が非常に高い。舟渡地区も同様に荒川沿いにあり、舟渡水辺公園や都立浮間公園などが分布している。加賀地区は石神井川沿いにあり、緑被と水面に恵まれ、公園も多い地区となっている。四葉地区は都立赤塚公園が分布するほか、大門東の森などが分布する地区である。東坂下地区は新河岸川沿いに分布し、新河岸川緑道などの公園緑地があるが、板橋坂下ポンプ場の南東側に広大な未利用地があり現在は樹木被覆地と草地のためみどり率が高くなっている。
- ・ みどり率が最も低いのは、幸町地区の10.47%であった。次いで大山地区10.66%、蓮沼町地区12.44%、中板橋地区12.72%、大谷口地区12.98%となった。
- ・ 幸町地区、大山地区はともに区の南端に位置する首都高速と都道が交差する密集地区となっており、まとまった緑が少なく水面も分布しない地区である。とくに、幸町地区には大規模な公園が分布していない。蓮沼町地区は地区の中央を首都高と国道17号線が走っており、小規模な緑被が多いが、地区の北側に社寺の樹木被覆地が分布している。中板橋地区は大山地区の北側に位置し、大規模な緑被が少ない地区であるが、板橋大山公園の西側に医療施設が集まっており、まとまった緑被地を形成している。大谷口地区は大山地区、中板橋地区の西側に位置し、大規模な公園が分布していないが、大学や病院、公共施設の敷地に比較的広い面積の樹木被覆地が見られる地区である。

表 4-14 32 地区別みどり率の状況

地区名	地区面積 (ha)	みどり面積 (ha)	公園以外の 緑被地 (ha)	公園以外の 水面 (ha)	公園面積 (ha)	みどり率 (%)	順位
板橋	101.0	13.90	8.42	0.22	5.26	13.77	26
加賀	49.0	17.48	12.18	1.19	4.12	35.68	3
仲宿	57.0	7.53	6.01	0.53	0.99	13.22	27
幸町	76.0	7.96	7.26	0.00	0.69	10.47	32
大山	79.0	8.42	7.29	0.00	1.13	10.66	31
中板橋	100.0	12.72	11.41	0.00	1.32	12.72	29
富士見町	64.0	10.55	8.74	1.12	0.69	16.48	21
常盤台	105.0	16.66	12.96	0.78	2.92	15.87	24
向原	44.0	7.07	6.46	0.00	0.61	16.06	23
大谷口	83.0	10.78	9.53	0.00	1.25	12.98	28
小茂根	91.0	16.07	14.12	0.00	1.96	17.66	18
東新町	67.0	10.76	8.48	1.59	0.69	16.06	22
上板橋	76.0	21.56	7.26	0.51	13.79	28.37	6
蓮沼町	115.0	14.31	12.35	0.00	1.96	12.44	30
小豆沢	88.0	20.39	11.08	1.80	7.51	23.17	8
志村	73.0	11.21	9.70	0.00	1.51	15.35	25
前野町	142.0	24.31	19.26	0.00	5.05	17.12	19
中台	72.0	17.27	14.89	0.01	2.38	23.99	7
若木	53.0	9.72	7.49	0.00	2.24	18.34	16
東坂下	46.0	14.45	9.05	3.60	1.80	31.41	5
西台	85.0	18.96	16.23	0.00	2.73	22.31	10
徳丸	188.0	36.01	26.05	0.00	9.96	19.15	15
四葉	49.0	16.40	7.84	0.00	8.56	33.47	4
赤塚	196.0	39.47	30.96	0.01	8.50	20.14	13
赤塚新町	49.0	9.96	7.74	0.00	2.21	20.32	12
成増	142.0	28.32	22.84	0.48	5.00	19.94	14
三園	57.0	11.79	9.10	1.77	0.91	20.68	11
坂下	96.0	16.27	10.27	0.86	5.14	16.95	20
蓮根	94.0	16.74	13.10	1.08	2.56	17.80	17
舟渡	208.0	104.01	39.98	26.34	37.69	50.00	2
高島平	313.0	70.92	42.64	4.53	23.75	22.66	9
新河岸	162.0	92.46	36.35	19.78	36.33	57.07	1
区全域	3,220.0	734.42	467.02	66.22	201.18	22.81	—

※小数第 3 位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

4-2 過去の調査結果との比較

1) 植生被覆率の推移

1) - 1 過去の調査結果との比較（区全域）

- ・ 植生被覆地の推移を表4-15、植生被覆率の推移を図4-27に示す。
- ・ 「植生被覆地」は令和元年度調査では581.40haであったが、令和6年度調査では598.03haとなり、16.62haの増加であった。
- ・ 「植生被覆率」では18.07%から18.57%となり、0.50ポイントの増加であった。
- ・ 増加の主な要因は、樹木の生長や建物の建て替えに伴う敷地内の緑化、荒川河川敷の草地の繁茂などによるものである。

表4-15 植生被覆地の推移

区分	平成21年	平成26年	令和元年	令和6年	R01-R06推移
植生被覆面積(ha)	620.32	588.03	581.40	598.03	16.62
植生被覆率(%)	19.28	18.28	18.07	18.57	0.50

※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

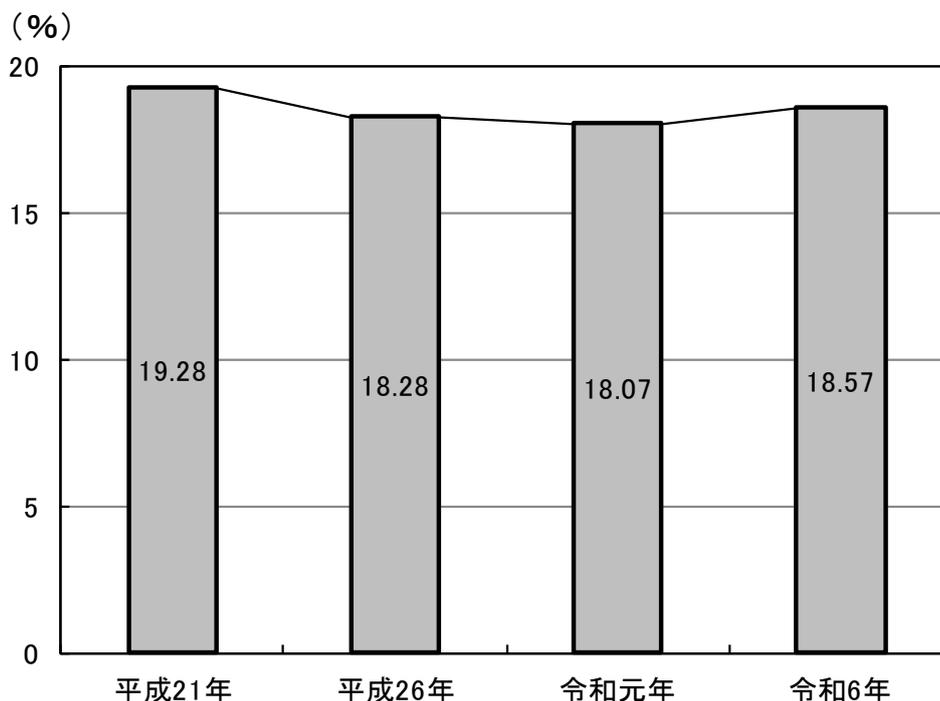


図4-27 植生被覆率の推移

1) - 2 令和元年度調査との比較（5地域別）

- ・ 地域別の植生被覆率の増減を表4-16、地域別の植生被覆地の推移を表4-17に示す。
- ・ 地域別の植生被覆率の推移では、板橋地域を除く4地域で増加した。最も増加したのは高島平地域で0.81ポイント、次いで志村地域で0.71ポイントであった。板橋地域は0.11ポイントの減少であった。
- ・ 植生被覆率では、板橋地域を除きすべての地域で植生被覆率が増加したが、緑被率では、すべての地域で減少であった。その理由は、令和元年度調査の植生被覆地の抽出では、高架や建築物等の影内の植生被覆地や十分に繁茂してない草地や屋上緑化などで自動抽出されなかったものが多かったためである。
- ・ 高島平地域の植生被覆地面積の減少が大きい要因は、荒川河川敷の草地等の整備の影響によるものである。

表 4-16 地域別の植生被覆率の増減

順位	地域	植生被覆率増減 (ポイント差)
1	高島平	0.81
2	志村	0.71
3	赤塚	0.57
4	常盤台	0.19
5	板橋	▲ 0.11
	区平均	0.50

表4-17 地域別の植生被覆地の推移

地域	面積	令和元年		令和6年		増減	
	(ha)	面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	ポイント差
板橋	526.00	70.05	13.34	69.58	13.23	▲ 0.47	▲ 0.11
常盤台	466.00	73.70	15.78	74.43	15.97	0.72	0.19
志村	646.00	102.12	15.84	106.90	16.55	4.78	0.71
赤塚	657.00	119.65	18.27	123.78	18.84	4.13	0.57
高島平	925.00	215.87	23.33	223.33	24.14	7.46	0.81
区全域	3220.00	581.40	18.07	598.03	18.57	16.62	0.50

※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

1) - 3 令和元年度調査との比較 (32地区別)

- ・ 地区別の植生被覆地の推移を表4-18に示す。
- ・ 「植生被覆地」は22地区で増加であった。
- ・ 上板橋地区、志村地区では、緑被面積が増加してもポイントが減少、またはその逆となっているが、これは地区面積が変化したためである。

表4-18 地区別の植生被覆地の推移

地区名	面積	令和元年		令和6年		増減		
	(ha)	面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	ポイント差	順位
板橋	101.0	11.23	11.17	11.13	11.02	▲ 0.10	▲ 0.15	24
加賀	49.0	15.63	32.09	14.84	30.29	▲ 0.79	▲ 1.80	32
仲宿	57.0	6.26	10.87	6.69	11.74	0.43	0.87	11
幸町	76.0	6.86	9.07	7.74	10.18	0.88	1.11	8
大山	79.0	7.38	9.33	7.82	9.90	0.44	0.57	16
中板橋	100.0	13.05	13.01	12.25	12.25	▲ 0.80	▲ 0.76	29
富士見町	64.0	9.65	15.27	9.11	14.24	▲ 0.54	▲ 1.03	30
常盤台	105.0	14.23	13.41	15.07	14.35	0.84	0.94	10
向原	44.0	6.40	14.81	6.90	15.67	0.50	0.87	12
大谷口	83.0	10.78	13.04	10.60	12.78	▲ 0.18	▲ 0.26	26
小茂根	91.0	16.51	18.16	16.08	17.68	▲ 0.43	▲ 0.49	27
東新町	67.0	9.25	13.77	9.36	13.98	0.11	0.21	19
上板橋	76.0	16.54	21.48	16.41	21.59	▲ 0.13	0.11	22
蓮沼町	115.0	11.90	10.47	13.32	11.59	1.42	1.12	7
小豆沢	88.0	14.38	16.45	14.75	16.76	0.37	0.30	18
志村	73.0	10.69	14.87	10.76	14.74	0.07	▲ 0.13	23
前野町	142.0	21.37	14.88	22.18	15.62	0.81	0.74	14
中台	72.0	17.24	24.07	16.79	23.32	▲ 0.45	▲ 0.76	28
若木	53.0	8.14	15.30	9.18	17.32	1.04	2.02	1
東坂下	46.0	9.31	20.32	9.89	21.51	0.59	1.19	5
西台	85.0	16.45	19.33	17.90	21.06	1.45	1.73	3
徳丸	188.0	30.03	16.06	32.57	17.32	2.53	1.26	4
四葉	49.0	15.48	32.05	15.19	30.99	▲ 0.29	▲ 1.06	31
赤塚	196.0	35.76	18.30	37.24	19.00	1.47	0.70	15
赤塚新町	49.0	9.32	19.07	9.25	18.87	▲ 0.08	▲ 0.19	25
成増	142.0	24.37	17.16	24.65	17.36	0.29	0.20	20
三園	57.0	8.97	15.54	9.35	16.40	0.38	0.86	13
坂下	96.0	11.40	11.79	12.32	12.84	0.93	1.05	9
蓮根	94.0	13.04	13.91	14.18	15.09	1.14	1.18	6
舟渡	208.0	62.79	30.17	63.79	30.67	1.00	0.50	17
高島平	313.0	57.10	18.24	57.56	18.39	0.46	0.15	21
新河岸	162.0	59.90	37.05	63.14	38.97	3.24	1.93	2
合計	3,220.0	581.40	18.07	598.03	18.57	16.62	0.50	—

※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

1) - 4 令和元年度調査との比較（町丁目別）

- ・ 植生被覆率の変化区分による町丁目数を表4-19、町丁目別の植生被覆率の変化状況を図4-28に示す。
- ・ 「植生被覆率」が3ポイント以上増加した町丁目は2町丁目、1ポイント以上3ポイント未満増加した町丁目が45町丁目、1ポイント未満の増加が48町丁目、1ポイント未満の減少が21町丁目、1ポイント以上3ポイント未満の減少が15町丁目、3ポイント以上の減少が3町丁目であった。

表 4-19 植生被覆率の変化区分による町丁目数

植生被覆率の変化	町丁目数	割合(%)
3ポイント以上の減少	3	2.2
1ポイント以上3ポイント未満の減少	15	11.2
1ポイント未満の減少	21	15.7
1ポイント未満の増加	48	35.8
1ポイント以上の増加	45	33.6
3ポイント以上の増加	2	1.5
合計	134	—

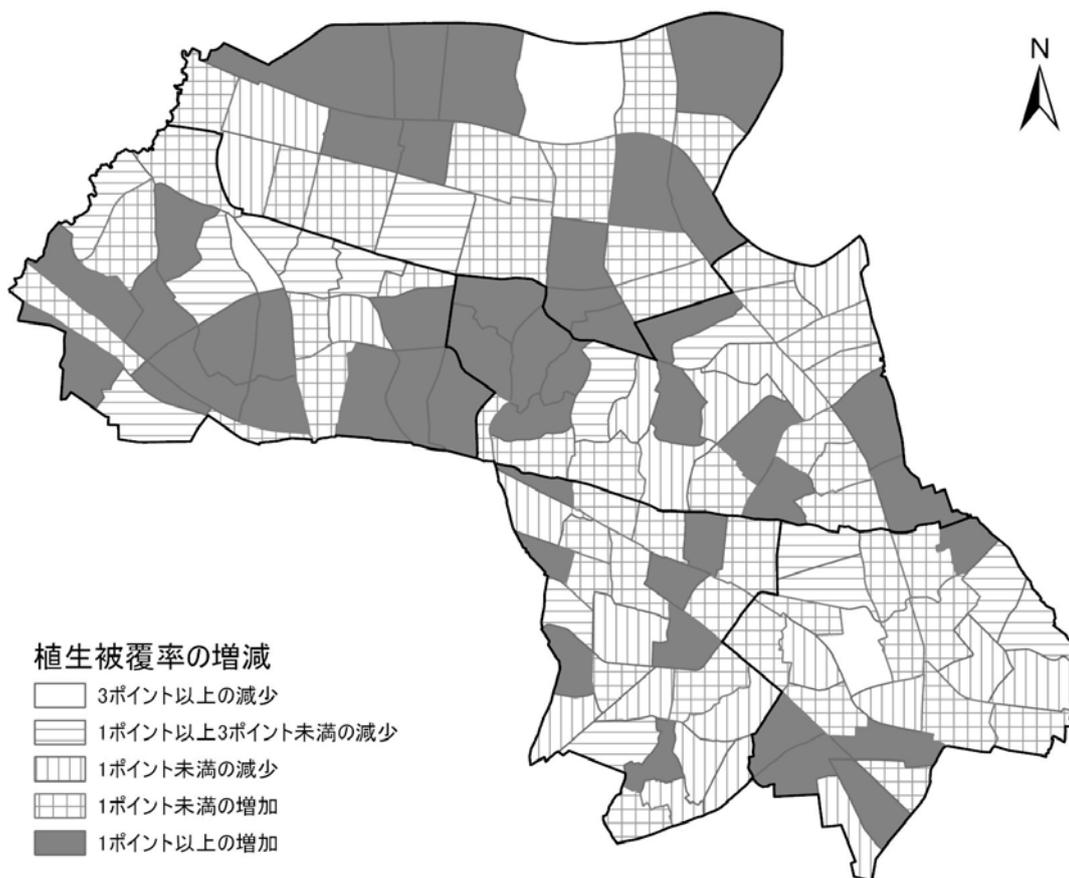


図4-28 町丁目別の植生被覆率の変化状況

2) 緑被率の推移

2) - 1 区全域での推移

- ・ 緑被面積300㎡以上を対象とした調査における昭和49年から令和6年までの比較を図4-29、緑被面積100㎡以上を対象とした調査における平成元年から令和6年までの比較を図4-30に示す。
- ・ 300㎡以上の緑被地の変化では、平成16年度調査まで減少傾向であったが、平成21年度調査で増加し、平成26年度調査からは再び減少していたが、本調査では増加した。
- ・ 100㎡以上の緑被地の変化では、平成21年度、平成26年度調査は増加したが、令和元年度調査では減少し、本調査では再び増加に転じた。

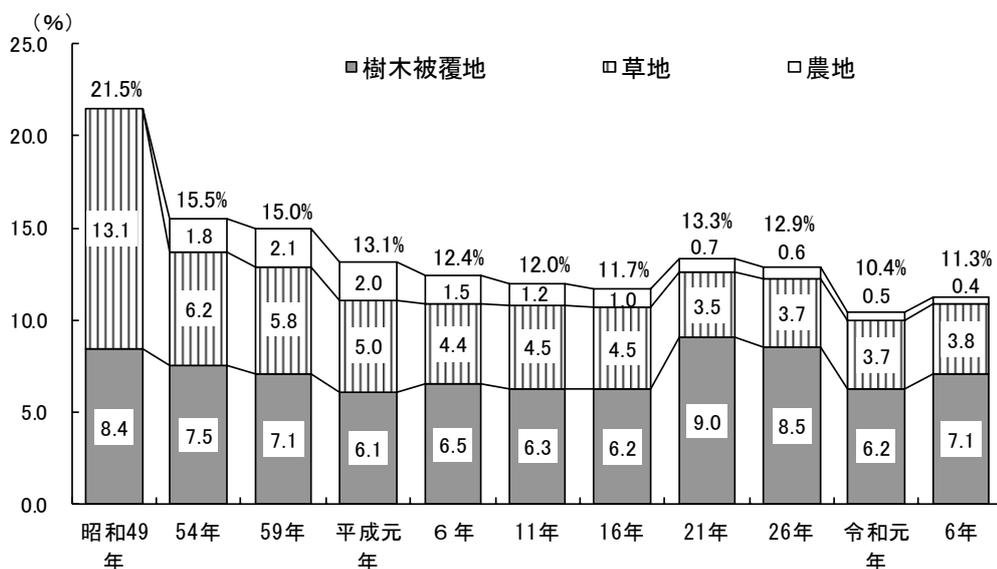


図4-29 区全域の緑被率の推移 (300㎡以上の緑被地を対象)

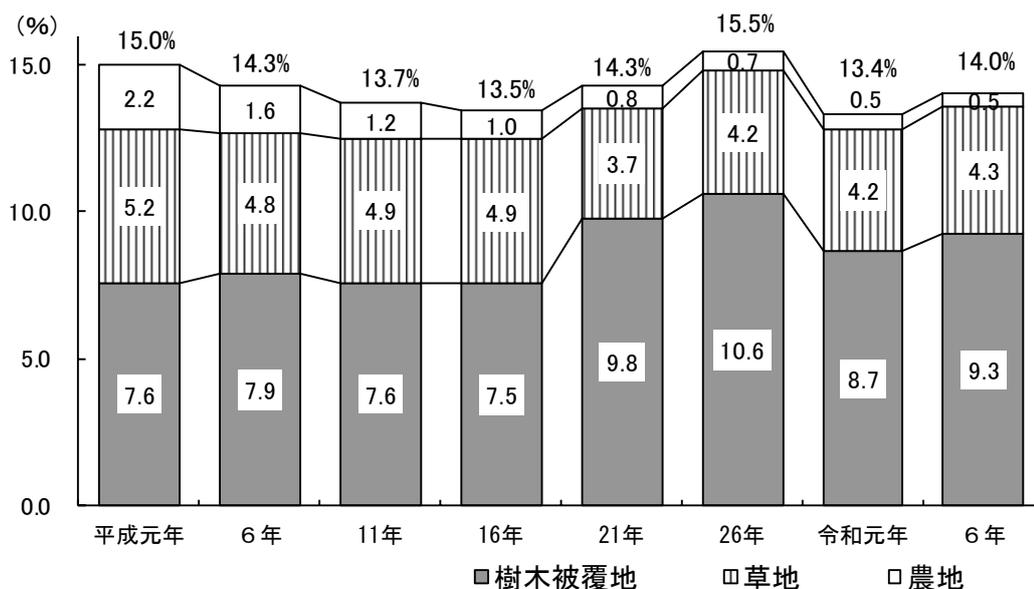


図4-30 区全域の緑被率の推移 (100㎡以上の緑被地を対象)

※図4-29、4-30とも小数第2位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。
 ※図4-29、4-30とも屋上緑化は樹木被覆地に計上

2) - 2 令和元年度調査との比較（区全域）

- ・ 令和元年度調査と令和6年度調査の緑被地の変化（1㎡以上の緑被地を対象）を表4-20、緑被地の推移状況（1㎡以上の緑被地を対象）を図4-31に示す。
- ・ 令和元年度調査と令和6年度調査の推移では、「緑被地」面積は19.07ha、「緑被率」は0.61ポイント減少した。
- ・ 「樹木被覆地」は20.56ha、0.65ポイントの減少、「草地」が4.89ha、0.15ポイントの増加、「農地」が3.61ha、0.11ポイントの減少、「屋上緑化」が0.21ha、0.01ポイントの増加であった。減少した「緑被地」の多くが「樹木被覆地」であった。
- ・ 樹木の生長や新たな緑地整備による樹木被覆地増加箇所はあるが、剪定による樹冠面積の縮小、建築物の新築や建替えに伴う樹木や樹林の消失による減少が増加面積を上回ったことから、樹木被覆地は減少となった。
- ・ 「樹木被覆地」の減少の主な要因は、建築物の新築や建替えによるものである。主な例として小茂根一丁目の集合住宅や舟渡水辺公園付近の倉庫施設の建替えが挙げられる。加えて屋敷林が集合住宅や戸建住宅に変わった箇所が区内の各所で確認されている。
- ・ 「樹木被覆地」の増加の主な要因は、令和元年度調査時は工事中であったところが、令和6年度調査には道路や建築物が完成し、街路樹、施設緑地が整備されたことによる。
- ・ 「草地」の減少が大きい箇所は荒川河川敷で、大規模な草刈りが確認された。その他の減少要因としては未利用地草地が土地利用されたことによる減少であった。
- ・ 「農地」の減少の主な要因は、農地の宅地化によるものであった。農地が戸建住宅に変化した箇所は、敷地全てが「人工面」に変化している。

表4-20 緑被地の変化（1㎡以上の緑被地を対象）

項目	令和元年		令和6年		推移	
	面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	構成比(%)
樹木被覆地	436.36	13.56	415.80	12.91	▲ 20.56	▲ 0.65
草地	158.10	4.91	162.99	5.06	4.89	0.15
農地	18.80	0.58	15.19	0.47	▲ 3.61	▲ 0.11
屋上緑化	9.78	0.30	9.99	0.31	0.21	0.01
緑被地計	623.04	19.37	603.97	18.76	▲ 19.07	▲ 0.61

※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

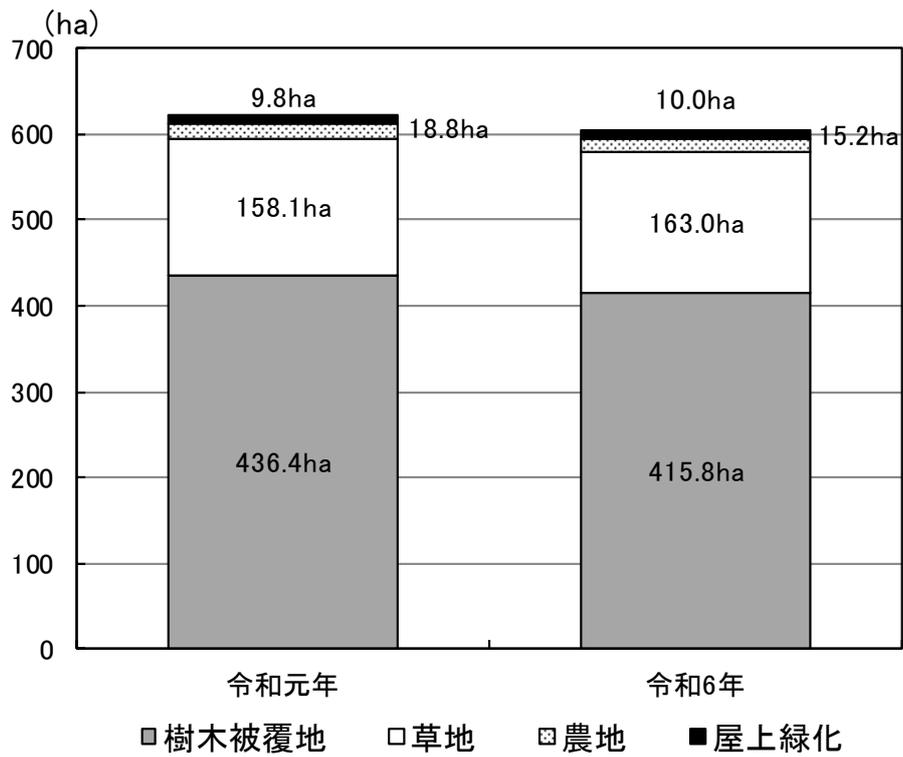
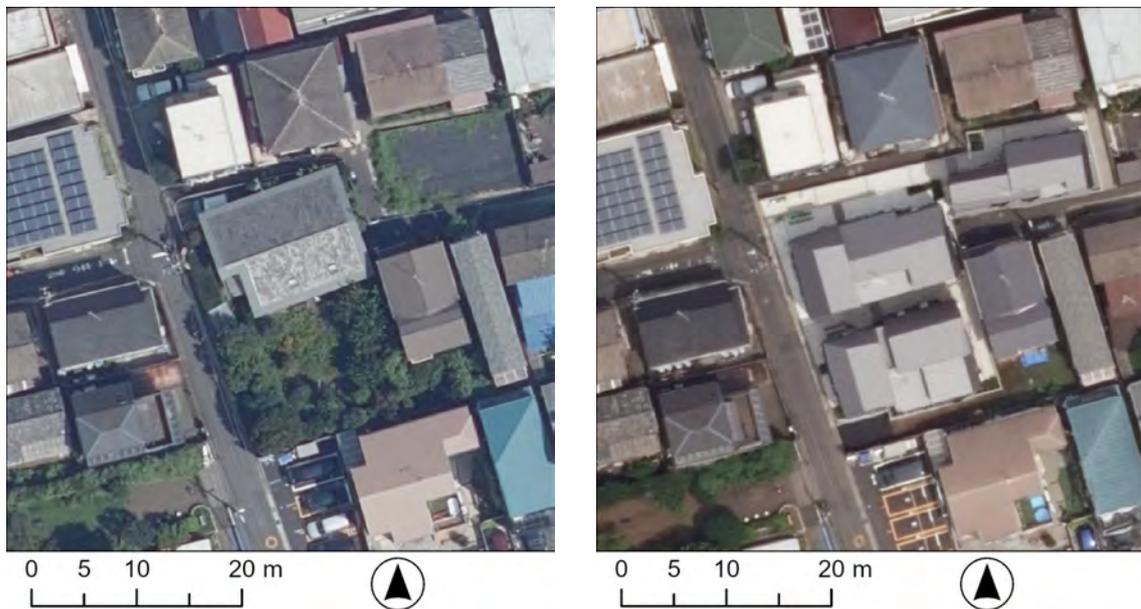
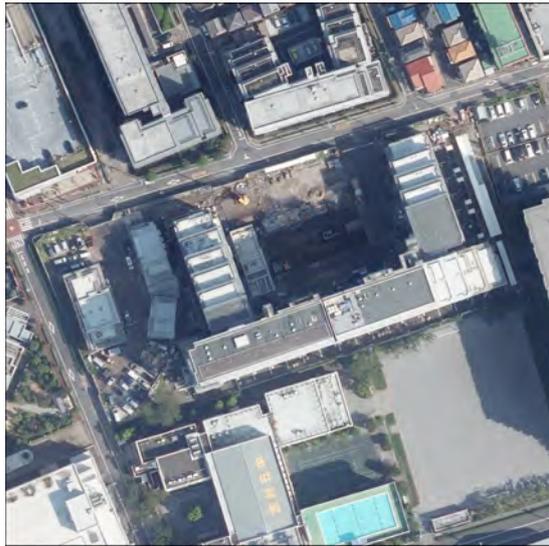


図4-31 緑被地の推移状況（1㎡以上の緑被地を対象）

【代表的な樹木被覆地減少の例】屋敷林の減少（左：令和元年 右：令和6年）



【代表的な樹木被覆地増加の例】建築による緑化（左：令和元年 右：令和6年）



【代表的な草地減少の例】未利用地草地の消失（左：令和元年 右：令和6年）

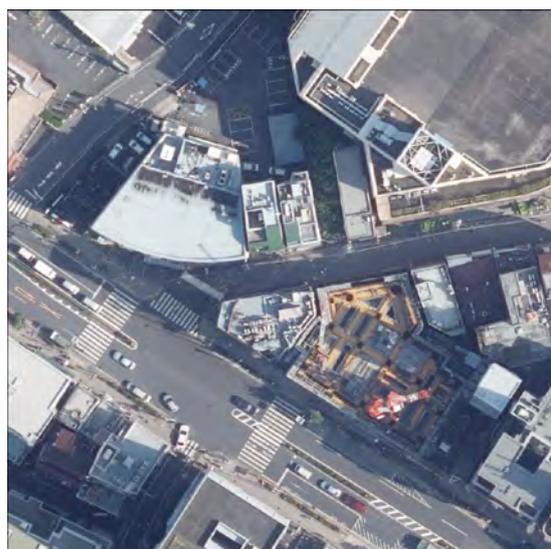


【代表的な草地増加の例】広場整備に伴う芝地化（左：令和元年 右：令和6年）

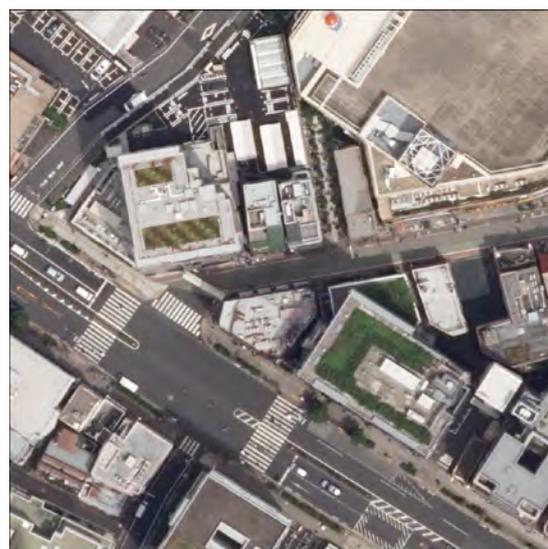


【代表的な屋上緑化増加の例】 建築による屋上緑化整備

(左：令和元年 右：令和6年)

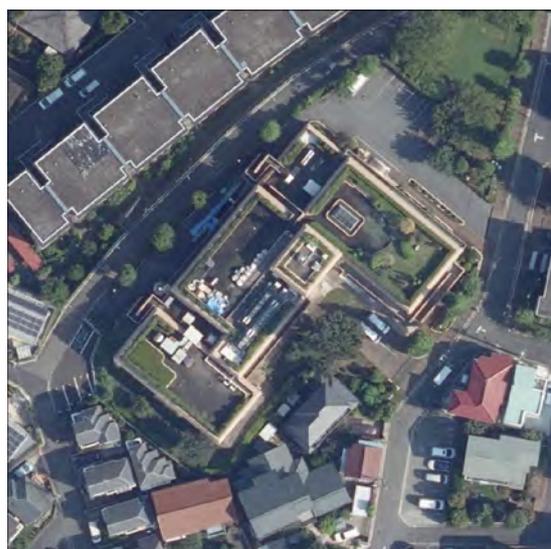


0 15 30 60 m ▲



0 15 30 60 m ▲

【代表的な屋上緑化減少の例】 屋上緑化の消失 (左：令和元年 右：令和6年)



0 12.5 25 50 m ▲



0 12.5 25 50 m ▲

2) - 3 緑被地の長期的な変遷 (区全域)

- ・ 緑被地の変遷を図4-32に示す。
- ・ 明治時代は「農地」が、区のほとんどの「緑被地」を占めていたが、宅地化、工業化等の開発の進行に伴って減少していった。
- ・ 現在「農地」は赤塚地域を中心にわずかに残っている状態である。
- ・ 「樹林地」は荒川低地と武蔵野台地との境界の崖線に、斜面林として連続して存在していたが、住宅地等の開発によって減少し、現在は公園緑地を中心に一部が残っている状態である。

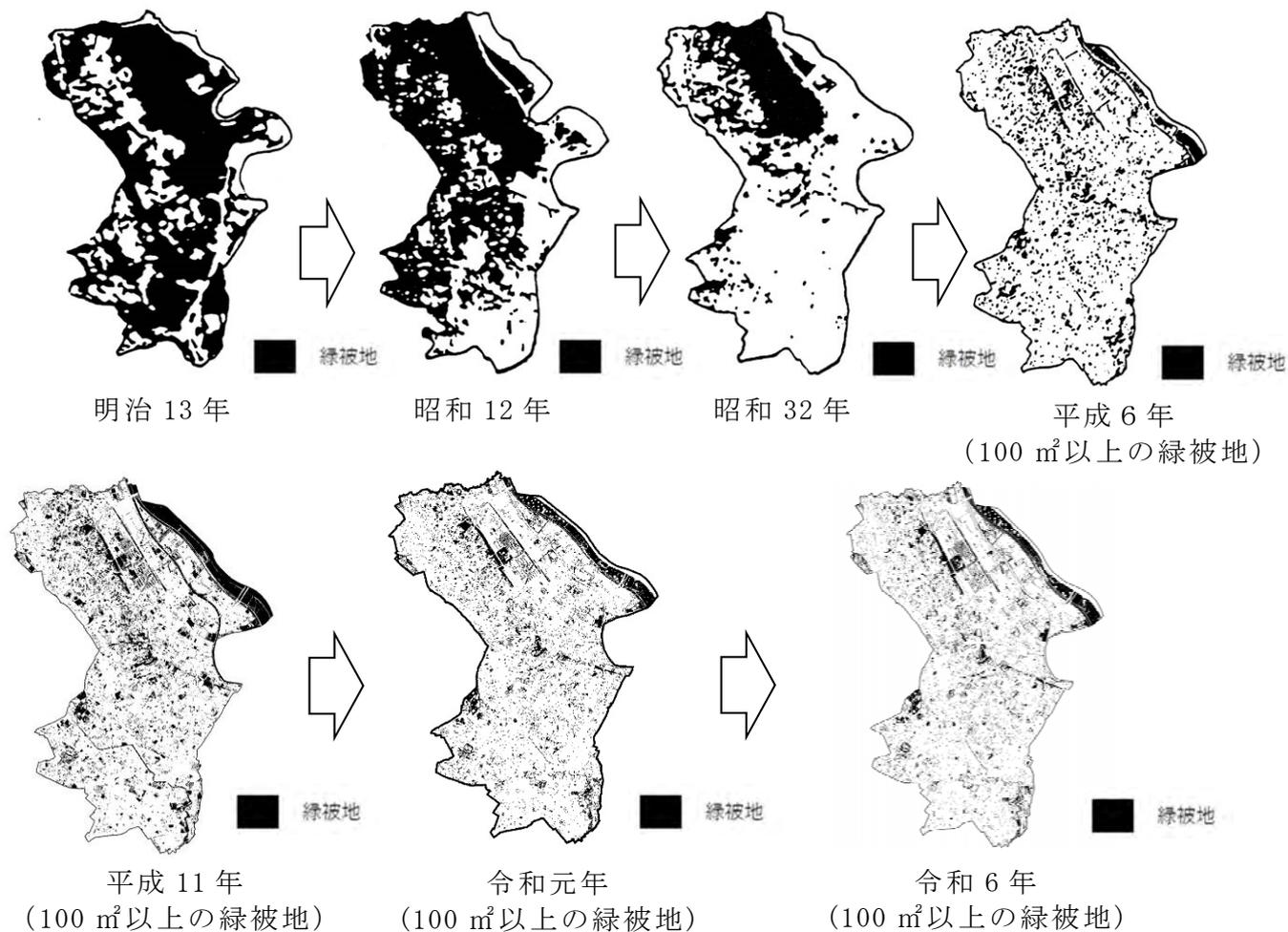


図4-32 緑被地の変遷

2) - 4 令和元年調査との比較（5地域別）

- ・ 5地域別の緑被地の変化（1㎡以上）を表4-21、表4-22に示す。
- ・ 「緑被率」は5地域全てで減少した。減少が最も大きい地域は赤塚地域（1.12ポイント減少）、次いで板橋地域（0.78ポイント減少）、常盤台地域（0.67ポイント減少）であった。
- ・ 「緑被率」の減少が最も小さい地域は志村地域（0.31ポイント減少）であった。
- ・ 「緑被率」の最も高い高島平地域は志村地域に次いで「緑被率」の減少量が小さい。
- ・ 赤塚地域は宅地化に伴う屋敷林や農地等の消失が多く存在することから、緑被率の減少も大きい結果となった。一方、志村地域は建築物等の建替えによって緑被地の消失は確認されているものの、集合住宅の敷地内緑地などまとまった緑被地の生長が見られるなど増加要因も多く、全体の減少量としては5地域中最も小さくなったと考えられる。

表4-21 5地域別の緑被地の変化（1㎡以上）（1）

地域	面積 (ha)	令和元年						令和6年					
		樹木 被覆地 (ha)	草地 (ha)	農地 (ha)	屋上 緑化 (ha)	緑被地 (ha)	緑被率 (%)	樹木 被覆地 (ha)	草地 (ha)	農地 (ha)	屋上 緑化 (ha)	緑被地 (ha)	緑被率 (%)
板橋	526.00	61.52	8.90	0.02	2.33	72.77	13.86	57.42	8.85	0.00	2.53	68.80	13.08
常盤台	466.00	66.73	7.58	0.32	1.02	75.66	16.20	62.72	8.20	0.32	1.12	72.36	15.53
志村	646.00	92.09	11.93	2.76	2.10	108.89	16.89	90.35	12.68	2.07	2.01	107.12	16.58
赤塚	657.00	103.40	14.54	14.78	1.27	133.99	20.46	98.17	15.70	11.95	1.18	127.01	19.33
高島平	925.00	112.61	115.14	0.92	3.06	231.73	25.04	107.14	117.56	0.84	3.14	228.68	24.72
区全域	3220.00	436.36	158.10	18.80	9.78	623.04	19.37	415.80	162.99	15.19	9.99	603.97	18.76

※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

表4-22 5地域別の緑被地の変化（1㎡以上）（2）

地域	面積 (ha)	増減(令和元年-令和6年)					
		樹木 被覆地 (ha)	草地 (ha)	農地 (ha)	屋上 緑化 (ha)	緑被地 (ha)	緑被率 (%)
板橋	526.00	▲ 4.11	▲ 0.05	▲ 0.02	0.20	▲ 3.97	▲ 0.78
常盤台	466.00	▲ 4.01	0.62	0.00	0.09	▲ 3.30	▲ 0.67
志村	646.00	▲ 1.75	0.75	▲ 0.69	▲ 0.08	▲ 1.77	▲ 0.31
赤塚	657.00	▲ 5.23	1.16	▲ 2.83	▲ 0.08	▲ 6.98	▲ 1.12
高島平	925.00	▲ 5.47	2.41	▲ 0.07	0.08	▲ 3.05	▲ 0.32
区全域	3220.00	▲ 20.56	4.89	▲ 3.61	0.21	▲ 19.07	▲ 0.61

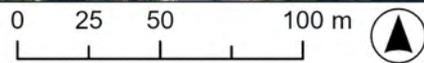
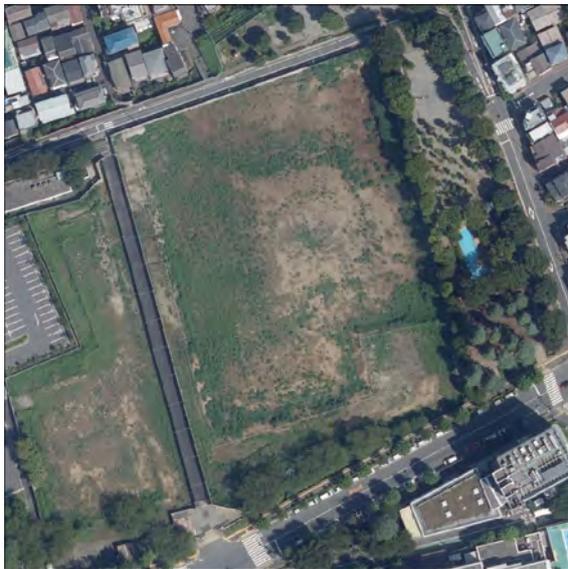
※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

【板橋地域】

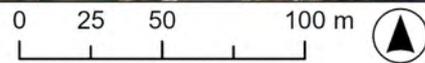
- ・板橋地域では「樹木被覆地」が4.11haの減少、「草地」が0.05haの減少、「農地」が0.02haの減少、「屋上緑化」が0.20haの増加で、「緑被地」全体で3.97haの減少であった。
- ・「樹木被覆地」の主な減少要因は、石神井川沿いの樹林の剪定による影響が大きい。
- ・建築工事が完了し、新たに「樹木被覆地」が増加している箇所も確認できた。
- ・「草地」の主な減少要因は、栄町や富士見町の草地になっていた更地が着工したことによるものである。

建築中の用途不明施設 栄町（草地の減少）

令和元年



令和6年



建築中の複数施設 富士見町（草地の減少）

令和元年



令和6年



集合住宅 加賀一丁目（樹木被覆地の増加）

令和元年

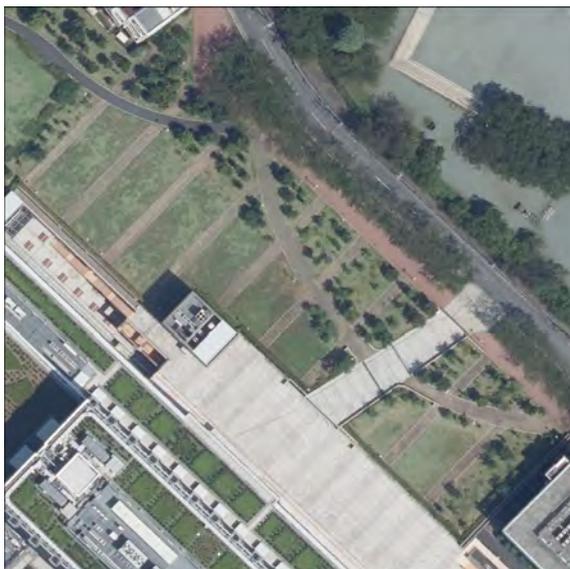


令和6年

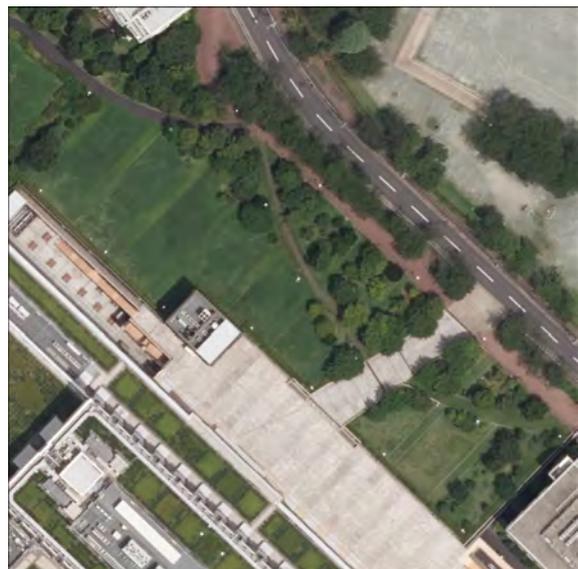


帝京大学 加賀二丁目（草地の増加）

令和元年



令和6年

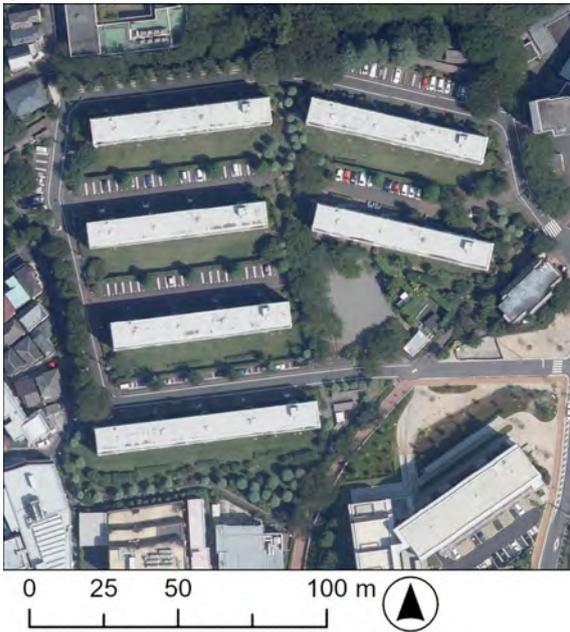


【常盤台地域】

- ・ 常盤台地域では「樹木被覆地」が4.01haの減少、「草地」が0.62haの増加、「屋上緑化」が0.09haの増加で、「緑被地」全体で3.30haの減少であった。
- ・ 「樹木被覆地」の主な減少要因は、小茂根一丁目や東新町二丁目の集合住宅の建て替えなどに伴う消失である。
- ・ 「草地」の主な増加要因は、茂呂広場における芝地の敷設である。
- ・ 「草地」の主な減少要因は、板橋高等学校の運動場の建設に伴う雑草地の消失である。

集合住宅 小茂根一丁目（樹木被覆地の減少）

令和元年

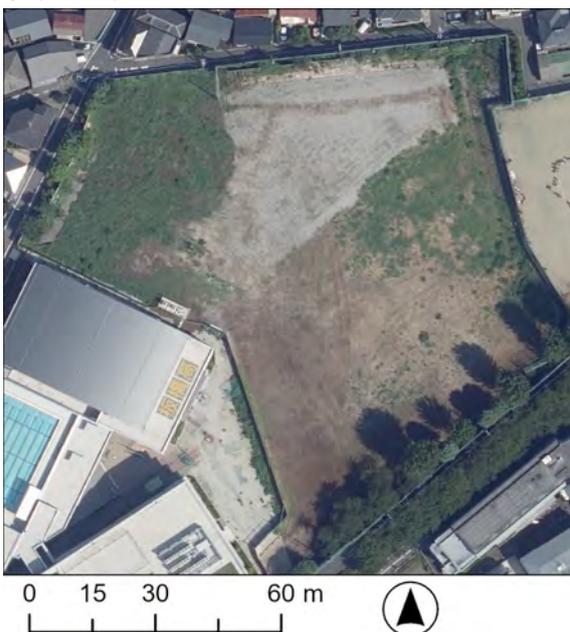


令和6年



板橋高等学校 大谷口一丁目（草地の減少）

令和元年



令和6年



茂呂広場 小茂根三丁目（草地の増加）
令和元年



令和6年



福祉施設 向原三丁目（樹木被覆地の増加）
令和元年



令和6年



【志村地域】

- ・ 志村地域では「樹木被覆地」が1.75haの減少、「草地」が0.75haの増加、「農地」が0.69haの減少、「屋上緑化」が0.08haの減少で、「緑被地」全体で1.77haの減少であった。
- ・ 「樹木被覆地」の主な減少要因は、志村第三公園や東原公園などの樹林の剪定である。
- ・ 一方で、集合住宅や商業施設の敷地内緑地の敷設により緑被地の増加が確認されている。
- ・ 「農地」の減少要因は住宅開発によるものであった。

農地 西台一丁目（農地の減少）

令和元年

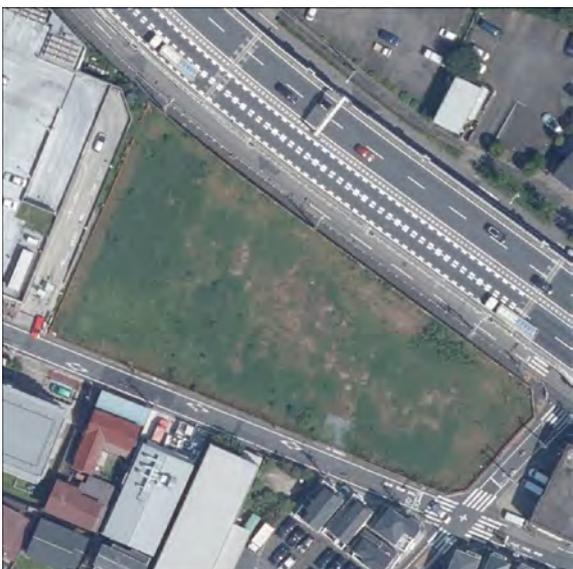


令和6年



医療施設 大原町（草地の減少）

令和元年



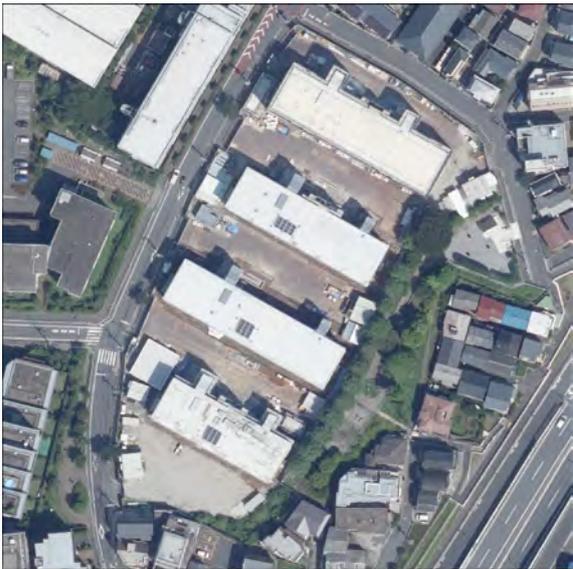
令和6年



集合住宅 若木二丁目（樹木被覆地の増加）

令和元年

令和6年



民間施設の広場 前野町一丁目（草地の増加）

令和元年

令和6年



【赤塚地域】

- ・ 赤塚地域では「樹木被覆地」が5.23haの減少、「草地」が1.16haの増加、「農地」が2.83haの減少、「屋上緑化」が0.08haの減少で、「緑被地」全体で6.98haの減少であった。
- ・ 「樹木被覆地」の主な減少要因が、戸建住宅の建て替えや集合住宅の建築に伴う屋敷林の減少であった。また、成増北第一公園や三園公園、赤塚新町公園など公園の管理の一環として樹木の剪定による減少も多く確認された。
- ・ 都営成増アパートの建替えでは、工事の完了による新たな「樹木被覆地」が整備された。
- ・ 「農地」の減少は、農地の宅地開発によるものであるが、赤塚植物園において、新たに農業園を建設していることが確認された。

成増北第一公園 成増五丁目（樹木被覆地の減少）

令和元年

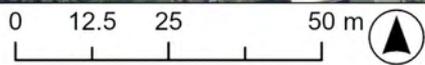


令和6年



都立赤塚公園周辺 四葉二丁目（樹木被覆地、草地の減少）

令和元年

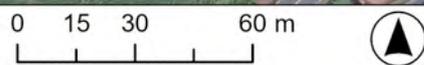


令和6年

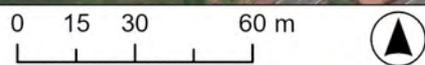


都営住宅 成増五丁目（樹木被覆地の増加）

令和元年



令和6年



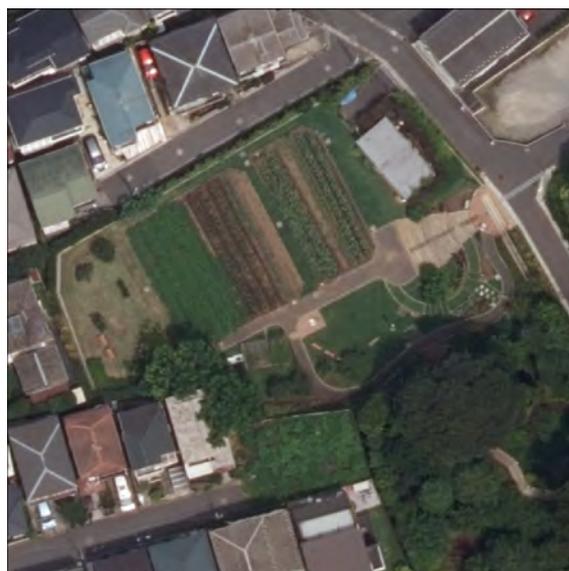
赤塚植物園(農業園) 赤塚五丁目(農地の増加)

令和元年

令和6年



0 5 10 20 m



0 5 10 20 m

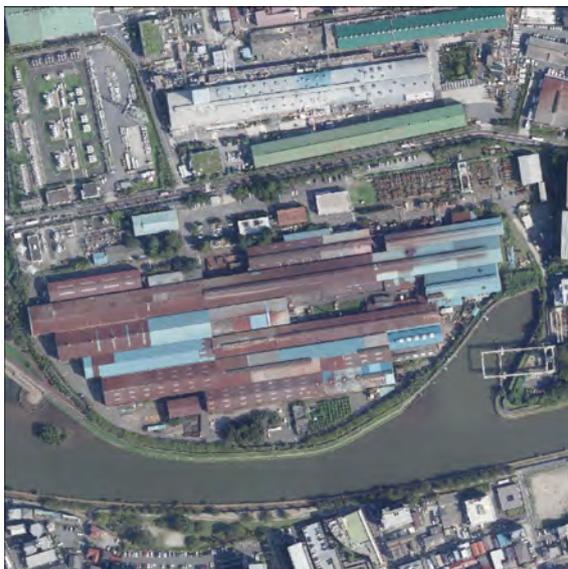


【高島平地域】

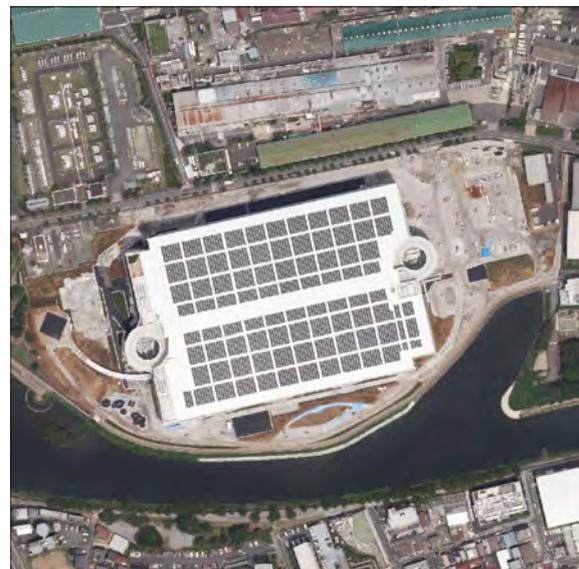
- ・ 高島平地域では「樹木被覆地」が5.47haの減少、「草地」が2.41haの増加、「農地」が0.07haの減少、「屋上緑化」が0.08haの増加で、「緑被地」全体で3.05haの減少であった。
- ・ 「樹木被覆地」の主な減少要因は、舟渡四丁目の大規模倉庫施設など建物の建替えによる減少、公園や緑道の管理に伴う樹木の剪定によるものである。
- ・ 「草地」は石神井川沿いや荒川河川敷において、裸地の草地化が随所で確認され、草地面積の増加箇所となっている。一方、荒川河川敷ではいたばし花火大会に伴う下草刈りが行われており、まとまった草地がなくなっている。

倉庫施設 舟渡四丁目（樹木被覆地の減少）

令和元年



令和6年



荒川河川敷 舟渡四丁目（草地の減少）

令和元年



令和6年

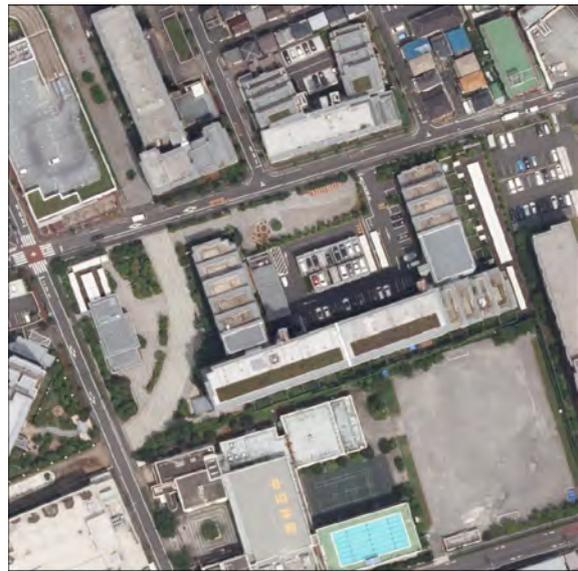


集合住宅 坂下二丁目（樹木被覆地の増加）

令和元年



令和6年



集合住宅 新河岸二丁目（樹木被覆地の増加）

令和元年



令和6年



2) - 5 令和元年度調査との比較 (32地区別)

- ・ 緑被率増加の地区別順位を表4-23、緑被率減少の地区別順位を表4-24、地区別の緑被率の変化状況(1㎡以上の緑被地)を図4-33に示す。
- ・ 「緑被率」が最も増加したのは若木地区で0.81ポイント、次いで東坂下地区が0.24ポイント、蓮根地区が0.20ポイントであった。
- ・ 「緑被率」が最も減少したのが四葉地区で2.05ポイント、次いで加賀地区が1.88ポイント、富士見町地区が1.64ポイント、次いで加賀地区が1.88ポイント、富士見町地区が1.64ポイントであった。

表4-23 緑被率増加の地区別順位

順位	地区	緑被率増減 (ポイント差)
1	若木	0.81
2	東坂下	0.24
3	蓮根	0.20
4	仲宿	0.15
5	坂下	0.11
	区平均	▲ 0.61

表4-24 緑被率減少の地区別順位

順位	地区	緑被率増減 (ポイント差)
1	四葉	▲ 2.05
2	加賀	▲ 1.88
3	富士見町	▲ 1.64
4	舟渡	▲ 1.63
5	赤塚	▲ 1.50
	区平均	▲ 0.61

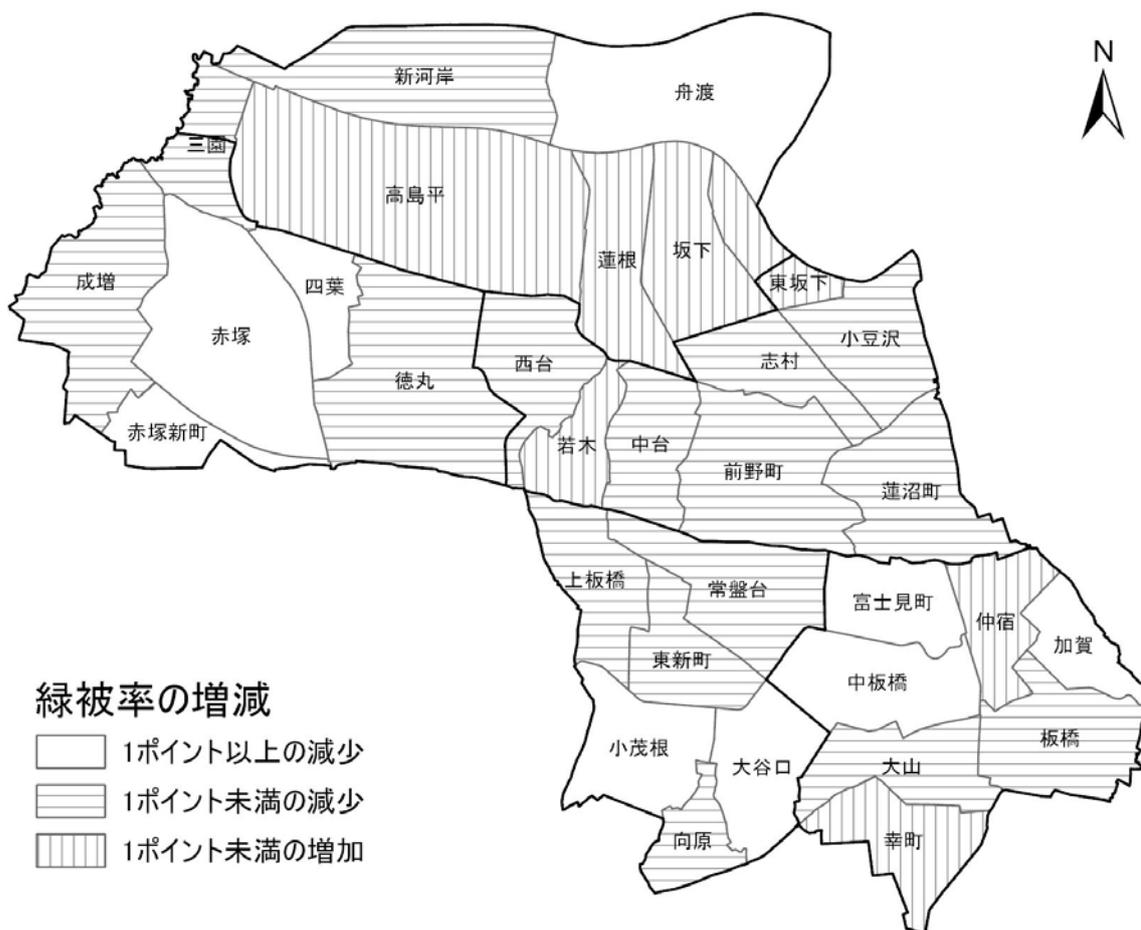


図4-33 地区別の緑被率の変化状況(1㎡以上の緑被地)

2) - 6 令和元年度調査との比較（町丁目別）

- ・ 緑被率増加の町丁目別順位を表4-25、緑被率減少の町丁目別順位を表4-26、町丁目別の緑被率の変化状況（1㎡以上の緑被地）を図4-34に示す。
- ・ 町丁目別では「緑被率」が1ポイント以上の増加が6町丁目、1ポイント未満の増加が39町丁目、1ポイント未満の減少が50町丁目、1ポイント以上の減少が33町丁目、3ポイント以上の減少が6町丁目であった。
- ・ 「緑被率」の増加が最も大きいのが若木二丁目で2.56ポイント、次いで小茂根五丁目が2.07ポイント、徳丸二丁目が1.23ポイントであった。
- ・ 「緑被率」の減少では赤塚八丁目と舟渡四丁目とが5.16ポイント、栄町が3.75ポイントの減少であった。

表 4-25 緑被率増加の町丁目別順位

順位	町丁目	緑被率増減 (ポイント差)
1	若木二丁目	2.56
2	小茂根五丁目	2.07
3	徳丸二丁目	1.23
4	舟渡二丁目	1.16
5	赤塚新町二丁目	1.12
	区平均	▲ 0.61

表 4-26 緑被率減少の町丁目別順位

順位	町丁目	緑被率増減 (ポイント差)
1	赤塚八丁目	▲ 5.25
2	舟渡四丁目	▲ 5.16
3	栄町	▲ 3.75
4	成増五丁目	▲ 3.26
5	小茂根一丁目	▲ 3.26
	区平均	▲ 0.61

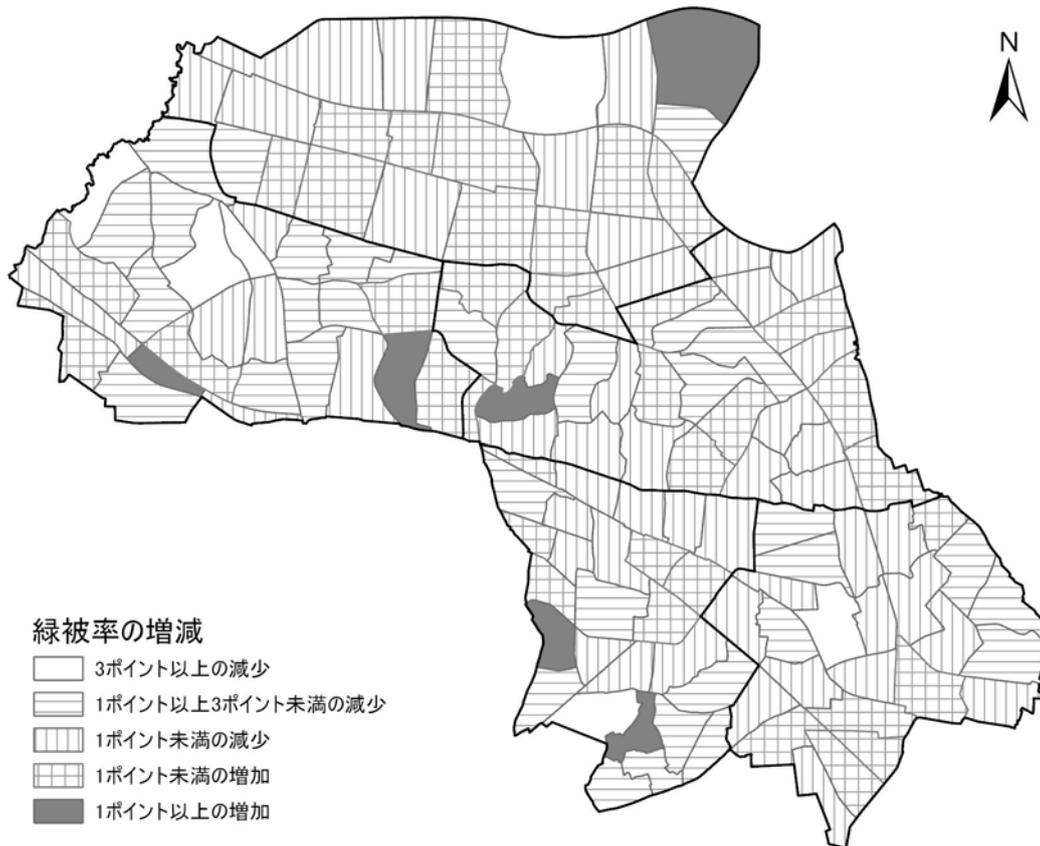


図4-34 町丁目別の緑被率の変化状況（1㎡以上の緑被地）

2) - 7 令和元年度調査との比較（土地利用別）

- ・ 令和元年度調査と令和6年度調査の土地利用別緑被推移量を表4-27に示す。
- ・ 緑被率の増加が最も大きい宅地系（公共用地、商業用地、住宅、工業用地）の土地利用は、宿泊施設（2.41ポイント増加）、次いで官公庁施設（1.53ポイント増加）、医療移設（0.82ポイント増加）、スポーツ施設（0.81ポイント増加）であった。
- ・ 宅地系土地利用で緑被率の減少が最も大きいのは、厚生施設（2.53ポイント減少）、宗教施設（2.37ポイント減少）、専用工場（1.23ポイント減少）、公衆浴場等と独立住宅（0.97ポイント減少）であった。
- ・ 独立住宅は敷地面積が2.0haが増加したのに対して、緑被地面積が5.88ha減少した。屋敷林や家庭菜園を有する敷地規模の大きい独立住宅が敷地規模の小さい独立住宅に変化しているのが各所で見られることが、その要因と考えられる。
- ・ 集合住宅は、敷地面積が32.7ha、緑被地面積が2.03haの増加で、緑被率は0.45ポイントの減少であった。敷地規模の大きい集合住宅の多くが緑化指導の対象となっており、緑化基準に基づく緑地の整備が義務付けられていることから、集合住宅の新築、建替えに伴い、緑被地面積も増加したものと考えられる。ただし、敷地面積の増加に対して、緑化した樹木の生長が伴っておらず、緑被地面積は増加であるが、緑被率としては減少となった。
- ・ 樹園地、森林は土地利用自体が緑被地であるが、敷地面積が少ないため、わずかな変化で大きく緑被率が変わる。緑被率は樹園地が27.17ポイントの減少、森林が8.06ポイントの増加であるが、緑被面積の変化は、樹園地は0.51haの減少、森林は0.04haの増加と少ない。
- ・ 公園・運動場等は、敷地面積が1.1ha、緑被面積が7.45haの減少で、緑被率は2.86ポイントの減少であり、敷地面積に対して緑被地の減少が大きい。これは、公園緑地の管理の一環としての樹木の剪定や草刈りによる影響が大きい。

表4-27 土地利用別の緑被推移量（令和元年－令和6年）

土地利用		敷地面積 (ha)	樹木 (ha)	草地 (ha)	農地 (ha)	屋上緑化 (ha)	緑被地 (ha)	緑被率 (ポイント差)
公共用地	官公庁施設	1.3	0.21	0.09	0.00	0.02	0.32	1.53
	教育施設	▲ 1.4	▲ 0.67	0.49	▲ 0.00	0.07	▲ 0.10	0.13
	文化施設	▲ 0.0	▲ 0.02	▲ 0.01	0.00	▲ 0.00	▲ 0.03	▲ 0.71
	宗教施設	0.8	▲ 0.20	0.00	▲ 0.00	▲ 0.01	▲ 0.20	▲ 2.37
	医療施設	0.2	0.05	0.13	▲ 0.00	0.10	0.27	0.82
	厚生施設	1.6	0.31	▲ 0.81	▲ 0.00	0.04	▲ 0.46	▲ 2.53
	供給施設	0.0	0.03	▲ 0.02	0.00	0.00	0.00	▲ 0.01
	処理施設	0.1	▲ 0.05	▲ 0.12	0.00	0.01	▲ 0.15	▲ 0.64
	計	2.6	▲ 0.34	▲ 0.25	▲ 0.00	0.23	▲ 0.36	▲ 0.34
商業用地	事務所建築物	0.4	▲ 0.20	0.00	▲ 0.00	0.05	▲ 0.15	▲ 0.38
	商業施設	2.1	▲ 0.03	0.30	▲ 0.00	0.06	0.33	0.36
	公衆浴場等	▲ 0.9	▲ 0.08	▲ 0.03	0.00	▲ 0.01	▲ 0.12	▲ 0.97
	住商併用建物	▲ 6.4	▲ 0.32	0.24	▲ 0.03	▲ 0.03	▲ 0.13	0.23
	宿泊施設	▲ 0.1	0.02	▲ 0.01	0.00	0.00	0.01	2.41
	遊興施設	▲ 0.2	0.01	0.02	0.00	▲ 0.01	0.03	0.78
	スポーツ施設	▲ 0.2	▲ 0.03	0.04	0.00	0.00	0.01	0.81
	計	▲ 5.3	▲ 0.63	0.56	▲ 0.04	0.07	▲ 0.04	0.15
住宅	独立住宅	2.0	▲ 5.98	0.62	▲ 0.47	▲ 0.06	▲ 5.88	▲ 0.97
	集合住宅	32.7	2.31	▲ 0.19	▲ 0.04	▲ 0.05	2.03	▲ 0.45
	計	34.7	▲ 3.67	0.43	▲ 0.50	▲ 0.11	▲ 3.85	▲ 0.71
工業用地	専用工場	▲ 4.9	▲ 1.94	0.37	▲ 0.00	▲ 0.04	▲ 1.61	▲ 1.23
	住居併用工場	▲ 3.3	▲ 0.15	▲ 0.01	▲ 0.00	▲ 0.00	▲ 0.17	▲ 0.01
	運輸施設	▲ 1.7	▲ 0.03	0.20	▲ 0.00	0.03	0.20	0.73
	倉庫施設	▲ 2.9	▲ 0.25	0.12	▲ 0.08	▲ 0.05	▲ 0.27	▲ 0.02
	計	▲ 12.8	▲ 2.37	0.67	▲ 0.09	▲ 0.06	▲ 1.85	▲ 0.42
空地	屋外利用地	▲ 11.9	▲ 1.72	0.07	▲ 0.16	▲ 0.01	▲ 1.82	▲ 0.49
	公園・運動場等	▲ 1.1	▲ 6.70	▲ 0.87	▲ 0.00	0.13	▲ 7.45	▲ 2.86
	未利用地等	5.3	▲ 0.48	2.06	▲ 0.05	▲ 0.03	1.50	▲ 2.49
	計	▲ 7.7	▲ 8.90	1.26	▲ 0.21	0.09	▲ 7.76	▲ 0.96
道路	2.5	▲ 3.49	0.43	▲ 0.03	▲ 0.00	▲ 3.08	▲ 0.53	
鉄道	0.2	▲ 0.11	0.66	0.00	▲ 0.00	0.54	2.13	
農業用地	農林漁業施設	0.0	▲ 0.00	▲ 0.00	0.00	0.00	▲ 0.00	▲ 1.48
	畑	▲ 3.4	▲ 0.41	▲ 0.05	▲ 2.38	▲ 0.00	▲ 2.84	▲ 0.90
	樹園地	▲ 0.1	▲ 0.11	▲ 0.06	▲ 0.34	0.00	▲ 0.51	▲ 27.17
	計	▲ 3.5	▲ 0.53	▲ 0.11	▲ 2.72	▲ 0.00	▲ 3.36	▲ 2.90
水面・河川	▲ 7.6	▲ 0.45	0.79	0.00	0.00	0.34	1.58	
林野	原野	0.0	▲ 0.09	0.42	▲ 0.02	0.00	0.31	1.23
	森林	▲ 0.0	0.00	0.03	0.00	0.00	0.04	8.06
	計	0.0	▲ 0.08	0.45	▲ 0.02	0.00	0.35	1.36
区全体	3.0	▲ 20.56	4.89	▲ 3.61	0.21	▲ 19.07	▲ 0.61	

※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

※土地利用区分において、令和3年度東京土地利用現況調査で一部区分が変更になっている。本集計は経年比較できるよう区分を前回に合わせたものであるため、表4-12(P.4-17)と区分が異なる。

3) みどり率の推移

3) - 1 令和元年度調査との比較（区全域）

- ・ みどり面積およびみどり率の推移を表4-28、みどり面積の変化状況を図4-35に示す。
- ・ 「みどり面積」は令和元年度調査では751.20haであったが、令和6年度調査では734.42haとなり16.77haの減少であった。
- ・ 「みどり率」は令和元年度調査では23.35%、令和6年度調査では22.81%であり、0.54ポイントの減少であった。
- ・ 公園以外の緑被地が16.95ha、公園面積が0.14haの減少で、公園以外の水面は0.31haの増加となっており公園以外の緑被地面積の減少が大きい。
- ・ 緑被地面積は19.07haの減少に対して、みどり面積は16.77haの減少であり、減少量は小さい。これは公園内の緑被地の減少がみどり率では反映されないことによる。

表 4-28 みどり面積およびみどり率の推移

項目	令和元年		令和6年		増減	
	面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	ポイント差
公園以外の緑被地	483.97	15.04	467.02	14.50	▲ 16.95	▲ 0.54
公園以外の水面	65.91	2.05	66.22	2.06	0.31	0.01
公園面積	201.32	6.26	201.18	6.25	▲ 0.14	▲ 0.01
みどり計	751.20	23.35	734.42	22.81	▲ 16.77	▲ 0.54

※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

(ha)

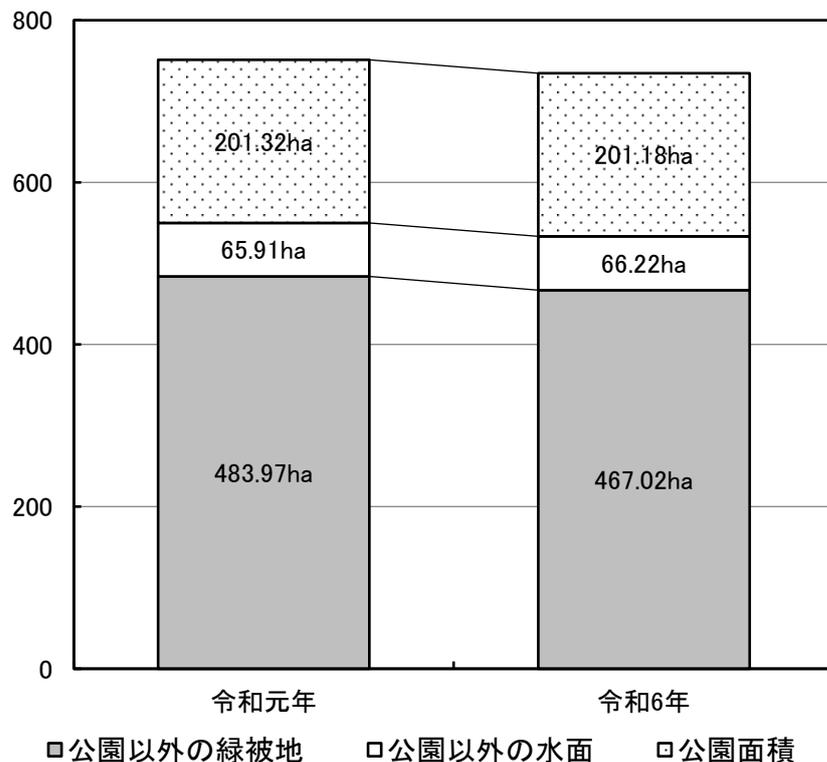


図 4-35 みどり面積の変化状況

3) - 2 令和元年度調査との比較（32地区別）

- ・ 令和元年度調査の32地区別のみどり率の推移を表4-29に示す。
- ・ みどり率の32地区別の推移では、7地区で増加、25地区で減少した。
- ・ 最も増加したのは若木地区で0.76ポイントの増加、次いで加賀地区が0.49ポイント増加、坂下地区が0.37ポイントの増加であった。
- ・ 最も減少が大きい地区は仲宿地区で3.48ポイント減、次いで四葉地区2.10ポイント減であった。
- ・ 公園以外の緑被地面積は6地区で増加、26地区で減少した。
- ・ 公園以外の水面は、5地区で増加、8地区で減少し、その他の19地区は小数2位まででは変化なしであった。最も増加したのは加賀地区の0.45ha増、最も減少したのは三園地区の0.39ha減であった。
- ・ 公園面積は8地区で増加、12地区で減少、その他の12地区は小数第2位まででは変化なしであった。公園面積が最も増加したのは加賀地区で1.46haの増加、最も減少したのは仲宿地区の2.12ha減であった。

表 4-29 32 地区別みどり率の推移

地区名	みどり面積 (ha)	公園以外の	公園以外の	公園面積 (ha)	みどり率 (ポイント)
		緑被地 (ha)	水面 (ha)		
板橋	0.29	▲ 0.63	0.10	0.82	0.22
加賀	0.34	▲ 1.57	0.45	1.46	0.49
仲宿	▲ 2.08	▲ 0.02	0.06	▲ 2.12	▲ 3.48
幸町	0.00	0.14	0.00	▲ 0.13	▲ 0.05
大山	▲ 0.28	▲ 0.25	0.00	▲ 0.03	▲ 0.34
中板橋	▲ 1.31	▲ 1.30	0.00	▲ 0.01	▲ 1.27
富士見町	▲ 0.77	▲ 0.83	0.11	▲ 0.05	▲ 1.43
常盤台	▲ 0.17	▲ 0.17	▲ 0.00	▲ 0.00	0.00
向原	▲ 0.07	▲ 0.13	▲ 0.00	0.05	▲ 0.47
大谷口	▲ 0.90	▲ 0.88	0.00	▲ 0.02	▲ 1.13
小茂根	▲ 0.94	▲ 0.91	0.00	▲ 0.04	▲ 1.06
東新町	▲ 0.33	▲ 0.33	0.00	0.00	▲ 0.45
上板橋	▲ 0.42	▲ 0.41	▲ 0.01	0.00	▲ 0.17
蓮沼町	0.11	0.11	0.00	▲ 0.00	▲ 0.05
小豆沢	▲ 0.36	▲ 0.26	0.00	▲ 0.10	▲ 0.57
志村	▲ 0.28	▲ 0.28	0.00	0.00	▲ 0.62
前野町	▲ 0.44	▲ 0.44	0.00	▲ 0.00	▲ 0.12
中台	▲ 0.51	▲ 0.38	▲ 0.01	▲ 0.12	▲ 0.84
若木	0.37	0.38	0.00	▲ 0.02	0.76
東坂下	▲ 0.28	0.21	0.00	▲ 0.49	▲ 0.75
西台	▲ 0.19	▲ 0.20	0.00	0.02	▲ 0.19
徳丸	▲ 0.86	▲ 0.86	0.00	▲ 0.00	▲ 0.56
四葉	▲ 0.78	▲ 0.90	0.00	0.12	▲ 2.10
赤塚	▲ 2.56	▲ 2.72	▲ 0.00	0.16	▲ 1.37
赤塚新町	▲ 0.43	▲ 0.43	0.00	0.00	▲ 0.93
成増	▲ 1.17	▲ 1.15	▲ 0.02	▲ 0.00	▲ 0.82
三園	▲ 0.94	▲ 0.55	▲ 0.39	0.00	▲ 1.39
坂下	0.24	0.29	▲ 0.06	0.01	0.37
蓮根	0.31	▲ 0.07	▲ 0.09	0.47	0.29
舟渡	▲ 1.41	▲ 1.69	0.28	0.00	▲ 0.66
高島平	▲ 1.20	▲ 1.16	▲ 0.04	▲ 0.00	▲ 0.38
新河岸	0.25	0.47	▲ 0.10	▲ 0.12	0.05
区全域	▲ 16.77	▲ 16.95	0.31	▲ 0.14	▲ 0.54

※小数第 3 位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。